令和７年版

消 防 年 報



大東四條畷消防本部

令和８年刊行

はじめに

本年報は、令和7年中における大東四條畷消防組合行政の現況を紹介するとともに、将来の参考に資するため編集したものです。

なお、この統計資料は原則として記載のないものは歴年とし、予算関係事項については会計年度としました。

令和8年10月

大東四條畷消防本部

大東四條畷消防組合　マスコットキャラクター



SYO坊や



火消武将　よっしー

当組合設立10周年を記念し、両市に跨がる飯盛城の城主であった三好長慶をモチーフに製作された「火消武将よっしー」と、組合設立当初から防火啓発活動等で活躍する先輩の「SYO坊や」です。

これからも、火災予防広報の最前線で活躍します。

大東四條畷消防職員憲章

大東四條畷消防職員は、市民の「安らぎ」と「幸せ」の生活基盤をなす、防火・防災の真の担手となり、自覚と信念をもってこの「五信条」を制定し、市民の信託に応えることを誓う。

我々大東四條畷消防職員は

1　つねに真心ある奉仕的精神を発揮し、もって社会向上につくすこと。

1　つねに規律ある和の精神を発揮し、もって組織向上につくすこと。

1　つねに健全なる活動精神を発揮し、もって志気向上につくすこと。

1　つねに不断なる向学精神を発揮し、もって知識向上につくすこと。

1　つねに普遍なる公徳精神を発揮し、もって人間向上につくすこと。

目　　次

1 構成市の概況
（1） 大東市の概要 …… 1
（2） 四條畷市の概要 …… 2
2 消防組合の概況
（1） 管内の概要 …… 3
（2） 消防庁舎の概要 …… 4
（3） 大東四條畷消防組合設立に向けた沿革 …… 6
（4） 沿革 …… 9
（5） 大東市消防本部　消防組合設立までのあゆみ …… 12
（6） 四條畷市消防本部　消防組合設立までのあゆみ …… 20
3 総務
（1） 組織図 …… 26
（2） 事務分掌 …… 27
（3） 予算 …… 30
（4） 決算状況 …… 31
（5） 消防相互応援協定 …… 32
4 人事
（1） 階級別年齢構成 …… 33
（2） 階級別勤続年数 …… 34
（3） 職員配置状況 …… 35
（4） 職員資格取得状況 …… 37
（5） 職員研修派遣状況 …… 38
5 消防署
（1） 消防車両等の配置 …… 39
（2） 通信施設 …… 40
（3） 訓練指導等の実施状況 …… 42
（4） 水利の使用状況 …… 42
（5） 通常業務 …… 42
（6） 通信指令室 …… 43
（7） 消防水利の概況 …… 44
（8） 消防資機材等保有状況 …… 45
（9） 出動状況 …… 47
（10） 火災の概況 …… 48
（11） 曜日別火災発生状況 …… 48
（12） 出火時刻別火災状況 …… 49
（13） 風速・湿度別火災発生状況 …… 50
（14） 原因別火災状況 …… 51
（15） 救急概要 …… 52
（16） 事故種別救急出場件数 …… 53
（17） 月別救急出場件数 …… 53
（18） 曜日別救急出場件数 …… 54
（19） 救急隊の行った応急処置件数 …… 55
（20） 現場到着所要時間別出場件数 …… 56
（21） 収容所要時間別搬送人員 …… 56
（22） 応急手当普及啓発活動状況 …… 57
（23） 救助活動状況 …… 58

6 予防
防火対象物の現況
（1） 防火対象物 …… 59
（2） 消防同意 …… 60
（3） 消防用設備等 …… 61
危険物規制事務の概要
（1） 危険物施設及び事業所数 …… 62
（2） 危険物施設の推移 …… 62
（3） 危険物施設関係事務処理状況 …… 63
保安3法規制事務の概要
（1） 火薬類取締法関係事務処理状況 …… 64
（2） 高圧ガス保安法関係事業所数 …… 64
（3） 高圧ガス保安法関係事務処理状況 …… 65
（4） 液化石油ガス法関係事業所数 …… 66
（5） 液化石油ガス法関係事務処理状況 …… 66
7 消防団
大東市消防団
（1） あゆみ …… 67
（2） 消防団の組織 …… 72
（3） 消防団員の定数と配置 …… 73
（4） 消防団員の年齢別及び階級 …… 74
（5） 在職年数別消防団員数 …… 75
（6） 消防団車両の配置 …… 76
四條畷市消防団
（1） あゆみ …… 77
（2） 消防団の組織 …… 81
（3） 消防団員の定数と配置 …… 82
（4） 消防団員の年齢別及び階級 …… 83
（5） 在職年数別消防団員数 …… 84
（6） 消防団車両の配置 …… 85
8 防火推進団体
（1） 大東市消防協力会 …… 86
（2） 大東市防火防災協会 …… 87
（3） 大東市女性防火クラブ・幼年消防クラブ …… 88
（4） 四條畷市防火協会 …… 90
（5） 四條畷市女性防火クラブ・幼年消防クラブ …… 91

1　構成市の概況

構成市の概況

（1）大東市の概要



東西7.5キロメートル、南北4.1キロメートルで、総面積は18.27平方キロメートル。
大阪府の東部、河内地方のほぼ中央に位置する人口およそ12万人の大東市。
東は豊かな自然が息づく「金剛生駒紀泉国定公園」を境に奈良県に、西は大阪市に接しています。
また、北は門真市、寝屋川市、四條畷市に南は東大阪市に、それぞれ接しています。
大阪市内及び京都府南部方面へは、JR学研都市線で結ばれ、道路も市の中央を南北に外環状線（国道170号）、東西を府道大阪生駒線が走り、交通の便にもたいへん恵まれたところです。

市　章

大東市は住道町、四条町、南郷村の2町1村が合併して、昭和31年4月に誕生しました。
大阪市の東部に隣接する衛星都市として飛躍的発展が期待されるという明るい展望のもと、市制のスタートを切りました。
過去の栄光と将来への明確な展望を「光は東方より」のことわざに託して「大東市」と命名されました。市章は、「大とう」の文字をデザイン化したもので、公募によって定められました。



市の木　　さんごじゅ

スイカズラ科の常緑高木で、3～10メートルの高さになります。
秋には赤い実をつけるたいへん美しい木で、実が赤く熟し、珊瑚のように見えることからさんごじゅと名付けられています。
この木は水分を多く含んでいるため、生け垣などに防火樹としてよく植えられ、名実ともにまちを美しく飾り、また守る木として愛されています。



市の花　　菊

菊は「古今和歌集」や「源氏物語」などに登場し、以後春の梅、桜と並んで秋の花の代表として広く親しまれています。
中国から薬草として日本に渡来したのが、後に観賞用となったもので、市内各地域でも気品と芳香を誇る菊作りが行われています。

（2）四條畷市の概要



四條畷市は、大阪府の東北部に位置し、大阪都心まで15kmほどの大都市近郊部にあります。
市域は、東西7.3 km、南北5.4 km、面積は18.69 k㎡ で、その約3分の2は北生駒山地となっており、寝屋川市、大東市、交野市、奈良県生駒市に接しています。
平坦地である西部市街地は、中央部を国道163号が東西に、西端部を大阪外環状線（国道170号）が南北に走っています。さらに、中央部をJR学研都市線（片町線）が南北に走り、その沿線を中心に市街地が広がっており、ところどころに農地や社寺、史跡の緑を残しています。 また、市街地の東側には、大阪平野を眺める飯盛山など北生駒の山々が連なり、そのほとんどが金剛生駒紀泉国定公園に指定され、緑豊かな姿をみせています。特に、北生駒山地の中核的エリアである緑の文化園周辺地域は、自然を活かした文化、研修、スポーツ・レクリエーションの場として、多くの人々に利用されており、広域的なシンボルゾーンとしての役割を担っています。
東部の田原地域には、自然環境に恵まれた田園風景の残る既存集落があり、また、水・緑・石を活かしたパークヒルズ田原の新市街地の整備が進み、緑豊かな魅力ある副核的地域として形成されつつあります。

市　章



四條畷の「し」と畷の「ナ」の2文字を平和の象徴である鳩に図案化し、未来に向かって雄飛する四條畷市の姿を表したものです。



市の木　　くすのき

楠は、わが国に産する樹木中最大のもの。常緑広葉で広円な樹冠を形成します。市内には、楠 正行墓地にうっそうと生い茂る楠の巨木があり、広く市民に親しまれています。



市の花　　さつき

さつきは、ツツジ科の常緑低木。観賞用として品種が多く、栽培増殖が簡単。花に風格があり、また、赤・白・しぼり桃など色彩感あふれており、多くの市民に愛好されています。

２　消防組合の概況

（1）管内の概要

平成25年11月1日、大東市消防本部と四條畷市消防本部を統合した「大東四條畷消防組合」を設立し、平成26年4月1日から両市を管轄区域とする「大東四條畷消防本部」として業務を開始しました。

当消防組合管内は大阪府の東部、河内地方のほぼ中央に位置し、管轄面積は約37k㎡、管轄人口は約17万人で、大東市と四條畷市の2市で構成されています。

東は豊かな自然が息づく「金剛生駒紀泉国定公園」を境に奈良県に、西は大阪市に、また、北は門真市、寝屋川市に、南は東大阪市に、それぞれ接しています。

大阪市内及び京都府南部方面へは、JR学研都市線で結ばれ、道路も市の中央を南北に外環状線（国道 170 号）が走り、交通の便にもたいへん恵まれたところです。

令和７年１２月末現在

	人口（人）	世帯数	面積（k㎡）
大東市	114, 866	58, 725	18. 27
四條畷市	53, 599	25, 286	18. 69
合計	168, 465	84, 011	36. 96

管内図



（2）消防庁舎の概要

消防本部・大東消防署

大東市新町13番35号
TEL 072－875－0119
FAX 072－870－0119

構造	鉄筋コンクリート 地上4階地下1階
規模	3,045.63㎡
竣工年月	平成4年3月



四條畷消防署

四條畷市西中野一丁目1番26号
TEL 072－877－0119
FAX 072－878－3552

構造	鉄筋コンクリート 地上3階地下1階
規模	1,784.15㎡
竣工年月	昭和49年10月



大東消防署　西分署

大東市南郷町1番28号
TEL 072－875－1119
FAX 072－875－1119

構造	鉄骨造 地上2階
規模	687.91㎡
竣工年月	平成4年3月



大東消防署　東分署

大東市野崎三丁目1番20号
TEL　072－862－0119
FAX　072－862－0119

構造	鉄筋コンクリート 地上2階
規模	1，109．6㎡
増築年月	平成21年3月



四條畷消防署　田原分署

四條畷市田原台七丁目1番11号
TEL　0743－79－2900
FAX　0743－79－2833

構造	鉄筋コンクリート 地上2階
規模	476.69㎡
竣工年月	平成6年3月



※　各庁舎の面積は、敷地内建物の合計

(3)大東四條畷消防組合設立に向けた沿革

平成 18 年 6 月 14 日　消防組織法の一部改正（市町村の消防の広域化）

平成 18 年 7 月 12 日　市町村の消防の広域化に関する基本指針（消防庁告示）

平成 19 年 4 月 2 日　大阪府消防広域化推進委員会の設置

平成 20 年 3 月　大阪府消防広域化推進計画の策定（平成 23 年 6 月改定）

平成 21 年 6 月 22 日　消防の広域化を踏まえた消防のあり方検討会 開催

平成 24 年 8 月 17 日　大東市・四條畷市消防広域化検討委員会 設立

平成 24 年 8 月 29 日　第１回 大東市・四條畷市消防広域化検討委員会
○検討委員会における検討事項、作業部会の設立

平成 24 年 9 月 11 日　消防広域化先進事例の視察（泉南市消防本部）

平成 24 年 9 月 12 日　消防広域化先進事例の視察
（滋賀県：湖南広域消防局、湖北地域消防本部）

平成 24 年 9 月 14 日　第１回　消防広域化検討委員会 作業部会
○両市消防の現状課題および広域化の効果について

平成 24 年 9 月 24 日　第２回　消防広域化検討委員会 作業部会
○検討結果報告書（案）、経費負担割合について

平成 24 年 9 月 28 日　第３回　消防広域化検討委員会 作業部会
○検討結果報告書（案）、広域化における初期費用等について

平成 24 年 10 月 19 日　第４回　消防広域化検討委員会 作業部会
○検討結果報告書（案）について

平成 24 年 10 月 26 日　第２回 大東市・四條畷市消防広域化検討委員会
○検討結果報告書（案）の検討協議、一部承認

平成 24 年 10 月 31 日　第３回 大東市・四條畷市消防広域化検討委員会（書面会議）
○検討結果報告書（案）承認

平成 24 年 11 月 8 日　大東市長、四條畷市長職務代理者四條畷市副市長 会談
○検討結果報告書の報告

平成 24 年 11 月 16 日　消防広域化先進事例の視察（泉佐野市消防本部）

平成 24 年 11 月 27 日　第４回 大東市・四條畷市消防広域化検討委員会
○協議会規約（案）、専門部会規程（案）、事務局規程（案）の検討

平成 24 年 12 月 3 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会 設立
○協議会規約、専門部会規程、事務局規程の承認

平成 25 年 2 月 15 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会　第１回専門部会
○広域化に係る調整事項（２８項目）の検討・協議

平成 25 年 2 月 21 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会　第２回専門部会（書面会議）
○広域化に係る調整事項（２８項目）の確認

平成 25 年 2 月 27 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会（第１回）
○広域化に係る調整事項（２８項目）の協議・確認

平成 25 年 3 月 19 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会　第３回専門部会
○広域消防運営計画（案）の検討・協議

平成 25 年 4 月 9 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会　第４回専門部会
○広域消防運営計画（案）の再検討・協議
○組合規約（案）の検討・協議
○組合設立許可申請事前協議項目の検討・協議
○協議会運営規程（案）、協議会傍聴規程（案）の検討・協議

平成 25 年 4 月 19 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会　第５回専門部会
○組合規約（案）の再検討・協議
○組合設立許可申請事前協議項目の再検討・協議

平成 25 年 4 月 26 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会（第２回）
○大東四條畷消防組合規約（案）の協議・確認
○大東市・四條畷市広域消防運営計画（案）の協議・確認
○大東四條畷消防組合設立事前協議項目の協議・確認

平成 25 年 5 月 13 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会（第３回書面会議）
○大東四條畷消防組合規約（案）の修正確認

平成 25 年 5 月 31 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会　第６回専門部会
○職員の給料・諸手当・福利厚生に関する事項の検討・協議
○財産の取り扱いに関する事項の検討・協議
○事業計画（案）【消防車両、消防救急無線、通信指令施設】の検討・協議
○財政計画（案）の検討・協議

平成 25 年 6 月 12 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会　第７回専門部会（書面会議）
○財政計画（案）の修正確認

平成 25 年 6 月 17 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会（第４回）

○財産の取り扱いに関する事項の協議・確認
○事業計画（案）【消防車両、消防救急無線、通信指令施設】の協議・確認
○財政計画（案）の協議・確認

平成 25 年 6 月 26 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会（第５回書面会議）
○大東市・四條畷市広域消防運営計画（案）の修正確認

平成 25 年 7 月 4 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会（第６回書面会議）
○大東四條畷消防組合設立事前協議項目の確認

平成 25 年 7 月 12 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会　第８回専門部会
○消防本部の位置、名称、組織に関する事項の検討・協議
○人事給与システム、財務会計システム、ホームページ等に関する事項の検討・協議
○採用計画に関する事項の検討・協議
○広域化に係る準備経費に関する検討・協議
○平成２５年度組合消防暫定予算に関する検討・協議
○大阪府への設置許可申請事前協議に係る追加事項についての検討・協議

平成 25 年 7 月 30 日　大東市・四條畷市消防広域化協議会（第７回）
○消防本部の位置、名称、組織に関する事項の協議・確認
○人事給与システム、財務会計システム、ホームページ等に関する事項の協議・確認
○採用計画に関する事項の協議・確認
○大阪府への設置許可申請事前協議に係る追加事項についての協議・確認
○広域化に係る準備経費に関する報告

平成 25 年 8 月 26 日　大東市長・四條畷市長　協議書に署名捺印

平成 25 年 10 月 3 日　大阪府へ一部事務組合の設立の許可申請

平成 25 年 11 月 1 日　一部事務組合（大東四條畷消防組合）設立許可
設置許可指令書交付式 出席者
大東市長、四條畷市長、大東市政策推進部長、四條畷市理事兼行政経営室長、両市消防長、大東市議会議長、四條畷市議会副議長
大阪府知事、危機管理監、総務部長

平成 26 年 2 月 6 日　平成２６年大東四條畷消防組合議会 第１回臨時会

平成 26 年 4 月 1 日　大東四條畷消防本部 業務開始（発足式）

(4) 沿 革

年　月　日	概　要
平成26年　4月　1日	大東四條畷消防本部 業務開始(発足式)
4月　1日	初代　消防長　林　　顯
4月　1日	高機能消防指令センター運用開始(Ⅱ型)
10月　22日	大東消防署に消防ポンプ自動車(CD－I型)を更新配備
10月　27日	消防本部に連絡車を更新配備
11月　26日	四條畷消防署に高規格救急自動車を更新配備
平成27年　2月　6日	大東消防署西分署に高規格救急自動車を更新配備
4月　1日	第2代　消防長　石田　　進
4月　1日	消防救急デジタル無線運用開始
7月　14日	枚方信用金庫からスクーター及びAEDトレーナー等の寄贈を受け、消防本部に配置
8月　24日	大東消防署東分署に消防ポンプ自動車を更新し、高所作業車を新規配備
10月　2日	大東市火災予防協会設立50周年記念式典(キラリエホール)
11月　17日	四條畷消防署に調査車を更新し、災害活動車を新規配備
11月　30日	四條畷消防署田原分署に消防ポンプ自動車(水I－B型)を更新配備
平成28年　1月　27日	四條畷消防署田原分署に高規格救急自動車を更新配備
3月　28日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会から電子看板の寄贈を受け、消防本部に配置
4月　1日	第3代　消防長　奥村　義実
9月　1日	コミュニティ助成事業により、大東市女性防火クラブ連絡協議会対象の心肺蘇生訓練用資器材を配置
平成29年　1月　31日	大東消防署に35m先端屈折・水路付梯子消防自動車を導入
4月　1日	大東市幼年消防クラブ(幼稚園、こども園、保育所(園)9園)が結成
4月　19日	大東市火災予防協会が「大東市防火防災協会」に改名
7月　4日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会から遠心式ミストファン4台の寄贈を受け、消防署に配置
7月　14日	四條畷市防火協会設立40周年記念式典(市民総合センター)　消火栓標識子供向け防火啓発DVD、ミスト式扇風機の寄贈を受け、消防署に配置
9月　28日	大東消防署に防火広報車を更新し、災害支援車を新規配備
11月　29日	大東消防署及び四條畷消防署の空気圧縮機を更新し、大東消防署に移動式空気圧縮機を配置
11月　30日	大東消防署に高規格救急自動車を更新配備
平成30年　1月　30日	四條畷消防署に消防ポンプ自動車(CD－I型)を更新配備
4月　1日	第4代　消防長　牧野　功
9月　19日	コミュニティ助成事業により、忍が丘幼稚園幼年消防クラブに法被及び鼓笛

			隊用の太鼓を配置
	9 月	26 日	消防本部に危険物号を更新配備
	12 月	2 日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会からカセットガス発電機、バックパネルの寄贈を受け消防本部に配置
令和元年	7 月	11 日	コミュニティ助成事業により、大東市女性防火クラブ連絡協議会にプロジェクター、スクリーン及びアンプ等の視聴覚資機材を配置
	7 月	16 日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会から救急訓練資器材あっぱくんライト、AEDトレーナー及びハンズフリー拡声器の寄贈を受け消防本部に配置
	11 月	26 日	四條畷消防署に高規格救急自動車を更新配備
令和2年	4 月	30 日	株式会社ルックからアルコール（ジェルタイプ）消毒液及びボトルの寄贈を受け消防署に配置
	6 月	5 日	枚方信用金庫から救命ボート、船外機、防災ウェーダー及びフロートキャッチャーの寄贈を受け消防署に配置
	8 月	5 日	四條畷市防火協会からタブレット端末（iPad）の寄贈を受け消防署に配置
	9 月	16 日	消防本部に広報車を更新配備
	11 月	16 日	大東市防火防災協会から広報車「水来」及び子供用防火服の寄贈を受け消防本部に配置
	11 月	17 日	コミュニティ助成事業により、四條畷市女性防火クラブ連絡協議会対象の心肺蘇生訓練用資器材を配置
令和3年	2 月	1 日	大東消防署西分署に高規格救急自動車を更新配備
	3 月	31 日	大東四條畷消防市民音楽隊解散
	6 月	8 日	野崎工業株式会社から光触媒空気清浄機3台寄贈を受け救急車に配置
	7 月	28 日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会からiPad2台、プロジェクター、幼児向け防火防災学習DVD及びスタンドライト投光器の寄贈を受け消防署に配置
	8 月	4 日	コミュニティ助成事業により、畷幼稚園幼年消防クラブに法被及び鼓笛隊用の太鼓を配置
令和４年	2 月	28 日	四條畷消防署に救助工作車を更新配備
	3 月	2 日	大東消防署に指揮車を更新配備
	3 月	30 日	四條畷市防火協会から幼年消防クラブ員の認定式で使用する啓発看板の寄贈を受け消防署に配置
	4 月	1 日	第5代　消防長　瀧田　昭彦
	6 月	15 日	コミュニティ助成事業により、大東中央幼稚園幼年消防クラブに鼓笛隊用太鼓マレット及びフラッグ等を配置
	7 月	12 日	大東消防署に査察号を更新配備
	9 月	27 日	救急振興財団から心肺蘇生訓練用資器材の寄贈を受け消防本部に配置
令和５年	1 月	6 日	四條畷消防署田原分署に高規格救急自動車を更新配備
	3 月	30 日	大東消防署西分署に消防ポンプ自動車（CD－I型）を更新配備

	7月	20日	コミュニティ助成事業により、忍ケ丘いるかこども園幼年消防クラブにマーチングキーボード及びユニホーム等を配置
	8月	1日	千成ヤクルト販売株式会社と火災予防及び健康増進に関する相互連携協定締結
	8月	22日	消防本部に本部公用車を更新配備
	8月	31日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会から住宅用火災警報器の設置を促進する横断幕の寄贈を受け、消防本部に配置
令和6年	3月	26日	大東消防署に高規格救急自動車を更新配備
	4月	1日	大東四條畷消防組合設立10周年記念誌を発刊
	5月	29日	コミュニティ助成事業により、四条保育園幼年消防クラブに鼓笛隊用の太鼓及び太鼓ホルダー等を配置
	9月	12日	日本郵便株式会社と火災予防及び安心・安全なまちづくりに関する連携・協力について協定を締結
	9月	14日	大東四條畷消防組合設立10周年記念イベントを開催
令和７年	3月	5日	高機能消防指令センター（Ⅱ型）を更新
	7月	7日	大東消防署西分署に消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新配備
	7月	24日	枚方信用金庫からマスコットキャラクター「火消武将　よっしー」の着ぐるみの寄贈を受け、消防本部に配置
	8月	14日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会から後方支援資器材アイスバス、テント及びカセットコンロの寄贈を受け消防本部に配置
	10月	23日	大阪広域生コンクリート共同組合と災害時における消防用水の確保に関する協定締結
	11月	7日	美津濃株式会社と素材の提供に関する覚書を締結

(5) 大東市消防本部 消防組合設立までのあゆみ

年　月　日	概　要
昭和39年 2月14日	政令で消防本部及び消防署を置かなければならない都市に指定
7．17	職員定数25名
40．3．30	消防本部(署)発足(ポンプ車、予備車、救急車各1台、職員14名配置)
	初代消防長　木本晴進
7．1	大阪府北ブロック消防相互応援協定締結
10．10	大東市火災予防協会発足(147事業所)　初代会長　池田 治郎吉
11．11	タンク車配置
12．1	大阪市、大東市消防相互応援協定締結
41．3．7	大阪府知事表彰旗受賞
6．27	職員定数38名
11．20	ポンプ車配置(日本損害保険協会寄贈)
	第2代　協会長　杉岡 金蔵
42．6．1	東大阪市、大東市消防相互応援協定締結
6．30	消防音楽隊結成(8名)
	広報車配置(大東市火災予防協会寄贈)
12．14	スノーケル車配置(15m級)
12．22	職員定数55名
43．3．7	消防庁長官竿頭綬受賞
11．1	第2代　消防長　大西 健治郎(助役事務取扱)
11．27	大東市婦人防火クラブ末広支部結成(92名)
44．8．12	救急車配置
9．1	林野火災消防相互応援協定締結(大東市、四條畷市、交野市、生駒市)
45．3．7	消防庁長官表彰旗受賞
3．25	職員定数70名
7．16	機構改革(課制実施　2課1署)
	第3代　消防長　見浪 保治郎
8．6	消防庁舎移転(赤井1丁目1番5号)
46．3．29	化学車配置
6．4	救急車配置(大東市火災予防協会寄贈)
47．3．22	ポンプ車配置
4．1	職員定数80名
	東分署開設(ポンプ車1台、救急車1台、職員16名配置)
	第3代　協会長　松村 憲三

年　　月　　日	概　　要
昭和47年12月 6日	予防広報車配置(大東市火災予防協会寄贈)
48．3．20	職員定数85名
4．1	3部制施行
5．8	救急車配置
5．18	救急車更新(大阪府モーターボート競走会寄贈)
49．4．1	職員定数90名
12．1	第4代　消防長　木本 晴進
50．2．27	スノーケル車第1回目オーバーホール
3．1	大東市消防職員憲章制定
9．1	ポンプ車更新
12．22	司令車配置(大東ライオンズクラブ寄贈)
51．3．24	タンク車更新(日本損害保険協会寄贈)
4．1	第4代　協会長　内田 照夫
7．1	大東市火災共済制度発足
7．1	大東市火災予防協会　消防庁長官表彰受賞
9．10	救急車更新
9．30	38m級はしご車配置
53．3．28	職員定数93名
5．10	予防広報車配置(大東市火災予防協会寄贈)
8．9	救急車更新 東分署
11．12	大東市婦人防火クラブ南郷支部結成(153名)
12．12	大東市婦人防火クラブ灰塚支部結成(350名)
54．6．12	公用車配置(大東市火災予防協会寄贈)
11．11	自治体消防制度発足30周年記念式典、職員家族慰労会 （大東市立市民体育館）
12．19	職員定数94名
55．4．1	大東市婦人防火クラブ山の手支部結成（458名）
	大東市婦人防火クラブ連絡協議会結成
7．1	第5代　消防長　米田 忠夫
	機構改革、予防課新設（3課、1署、1分署）
	大東市少年消防クラブ結成（65名）
8．1	大東市少年婦人防火委員会設置
10．25	大東市火災予防協会15周年記念式典並びに音楽隊発足10周年 記念演奏会（住道中学校）

年　月　日	概　要
昭和55年11月22日	防火広報車配置（日本防火協会寄贈）
12．17	救助工作車配置
12．23	調査車配置
56．4．28	2B型救急車更新（大阪府モーターボート競走会寄贈）
8．31	消防署CD－Ⅰ型ポンプ車更新
57．7．18	第1回少年婦人消防まつり（府立消防学校）
7．27	スノーケル車　第2回目オーバーホール
7．30	米田消防長退職、高比良助役事務取扱
8．3	第6代　消防長　萩家 周作
9．26	大東市婦人防火クラブ連絡協議会大野支部結成（450名）
10．16	資機材搬送車更新
11．17	火災共済号配置
58．3．6	大東市婦人防火クラブ連絡協議会南灰塚支部結成（192名）
3．30	2B型救急車更新
6．5	第7代　消防長　戸谷 宗孝
10．15	大東市消防協力会設立　初代会長　川西 喜重郎
10．20	Ⅰ－A型水槽付消防ポンプ車更新
10．23	自治体消防制度発足35周年記念式典（住道中学校体育館）
59．6．24	大東市婦人防火クラブ連絡協議会深四支部結成（450名）
8．25	大阪府幼年、少年、婦人等防火委員会設立大会（高島屋ホール）
	大東市婦人防火クラブ連絡協議会長　櫛田 秀子　委員に選出
10．1	職員定数100名
11．30	予防広報車配置
12．9	大東市婦人防火クラブ連絡協議会龍間支部結成（180名）
12．25	38m級はしご車第1回目オーバーホール
60．4．1	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会設立
	初代会長　大東市婦人防火クラブ連絡協議会会長　櫛田秀子
	第5代　協会長　吉井章逸
9．1	第1回　大東市地域総合防災訓練（深野遊水池）
10．15	大東市火災予防協会設立20周年記念式典（大東市立市民会館）
11．5	CD－Ⅰ型ポンプ車更新 東分署
61．2．12	消防本部（署）消防用無線固定局、東分署基地局、
	固定局開局（新市波増波）
4．1	第8代　消防長　長富 正敏

年　　月　　日	概　　要
昭和61年10月28日	第2回　全国婦人消防操法大会（横浜市）
	大阪府代表として、末広、大野選抜チーム出場
11．11	2B型救急車更新
62．4．30	予防広報車更新
8．18	化学車更新（日本損害保険協会寄贈）
62．11．28	大阪府東部林野火災特別地域の指定
63．4．1	第6代　協会長　安田 進一
8．22	火災共済号更新
9．1	大阪府下広域消防総合応援協定締結
10．9	自治体消防制度発足40周年、大東市消防音楽隊発足20周年記念式典
	（大東市立総合文化センター）
11．30	15m級はしご車更新
平成元年　3．10	司令車更新（大東中央ライオンズクラブ寄贈）
7．5	第9代　消防長　中野 光夫
9．29	職員定数110名
11．3	元消防長　見浪 保治郎　氏　勲五等瑞宝章受章
12．27	公用車更新（大東市火災予防協会寄贈）
2．6．4	予防広報車（1号）更新
7．9	防火広報車更新（枚方信用金庫寄贈）
9．17	大東市消防本部庁舎地鎮祭（大東市新町）
10．26	大東市火災予防協会設立25周年、大東市婦人防火クラブ連絡協議会
	少年消防クラブ設立10周年記念式典（大東市立総合文化センター）
3．3．3	救急車（2号）更新（大阪府共済農業協同組合連合会寄贈）
9．12	第1回「救急医療研修会」救急の日（大東市立市民会館）
4．3．13	消防本部・署移転（新町13－35）
	西分署開設（南郷町1－28）（ポンプ車、化学車、救急車、職員25名配置）
4．9	職員定数120名
5．2．26	38m級はしご車第2回目オーバーホール
3．11	西分署　水槽付CD－Ⅰ型ポンプ車更新
4．1	完全週休2日制実施
	救急救命士誕生
	第7代　協会長　北村 吉左衛門
5．25	西分署、東分署連絡車（軽四）配置
10．3	大東市消防協力会発足10周年記念式典（大東市立総合文化センター）

年　　月　　日	概　　要
平成5年11月17～18	自治体消防制度発足45周年記念式典（東京ドーム）
11．28	自治体消防制度発足45周年記念式典（中央区マイドームおおさか）
6．3．18	2B型救急車更新（大阪府モーターボート競走会寄贈）
10．16	少年消防クラブ15周年記念式典（大東市立市民会館）
11．30	調査車更新
7．1．17	阪神・淡路大震災発生
1.19～26	阪神・淡路大震災応援派遣（救急隊）神戸市灘消防署
1.26～2.3	阪神・淡路大震災応援派遣（消防隊）神戸市兵庫消防署
2.5～6	阪神・淡路大震災応援派遣（消防団）兵庫県消防学校（神戸市北区）
3．1	東分署CD－Ⅰ型ポンプ車更新
4．1	第10代　消防長　安川 博美
	第2代　消防協力会会長　川口 光治
5．21	大東市婦人防火クラブ連絡協議会15周年記念式典（大東市立市民会館）
6．18	大東市婦人防火クラブ連絡協議会北灰塚支部結成（580名）
11．3	第1回　消防フェア（大東市立総合文化センター周辺）
11．8	大東市火災予防協会設立30周年、大東市消防音楽隊発足25周年記念式典（大阪ヒルトンホテル）
	救助工作車更新
8．1．17	震災出動訓練
3．4	消防ポンプ車更新
3．18	西分署高規格救急車運用開始（大阪府モーターボート競走会寄贈）
7．25	防火広報車更新（日本防火協会寄贈）
9.7～9.10	第52回　プレ国民体育大会（バドミントン）
9．2．13	はしご車更新
7．26	第12回　大阪の消防大賞（大阪国際交流センター）
10.25～30	第52回　国民体育大会（バドミントン、ライフル射撃）
10．3．7	自治体消防制度発足50周年記念式典（日本武道館）
4．1	第11代　消防長　南野 征治
9．29	タンク車更新（日本損害保険協会寄贈）
10．25	第13回大東市地域総合防災訓練（氷野小学校）
10．30	タンク車更新
11．3	自治体消防制度発足50周年記念式典（消防本部）
11．11．15	東分署高規格救急車運用開始
12．5．20	大東市婦人防火クラブ連絡協議会20周年記念式典

年　月　日	概　要
	（大東市立総合文化センター）
平成12年 6月22日	広報車更新
7．28	指揮車更新
11．8	ミニ消防車「水来」配置（大東市火災予防協会寄贈）
	大東市火災予防協会設立35周年、大東市消防音楽隊発足30周年記念式典（ホテルニューオータニ）
13．2．9	ポンプ車配置
13．4．1	第8代　協会長　杉岡 五郎
10．14	大東市婦人防火クラブ連絡協議会朋来支部結成（1869名）
14．12．9	災害対応型高規格救急自動車　西分署更新
15．2．18	通信指令システムⅡ型　更新導入
4．1	第12代　消防長　岩田　彬
	第9代　協会長　田中 利男
	消防音楽隊（ウィングス）市民参加型に再編成
	本署　兼任救急隊配置
11．3	元職員　塚田 安幸　氏　瑞宝単光章受章
	元職員　見浪 紀義　氏　瑞宝単光章受章
11．8	大東市民防火の集い（自治体消防55周年記念行事）
	大東市消防協力会20周年記念式典（大東市立総合文化センター）
11．20	自治体消防制度55周年記念全国大会（東京ドーム）
12．1	高規格救急自動車　本署更新
16．4．1	大東市女性防火クラブ連絡協議会に名称変更
4．29	元職員　光野 薫充　氏　瑞宝単光章受章
11．3	元職員　角谷 逸郎　氏　瑞宝単光章受章
	元職員　西村 勇　氏　瑞宝単光章受章
17．4．1	第13代　消防長　古木 正純
4．29	元職員　東村 正幸　氏　瑞宝単光章受章
5．29	大東市女性防火クラブ連絡協議会設立25周年記念式典（奈良市　奈良ロイヤルホテル）
10．14	大東市火災予防協会設立40周年、大東市消防音楽隊発足35周年記念式典（ホテルニューオータニ）
18．3．6	高規格救急自動車（4WD）東分署更新
4．1	大東市三箇女性防火クラブ結成
	第3代　協力会会長　野口 貢

年　月　日	概　要
平成18年 6月 1日	住宅用火災警報器義務設置(新築住宅)施行
7．5	大東市女性防火クラブ連絡協議会会長　櫛田 秀子　氏 安全功労者消防庁長官表彰受賞
11．16	調査車更新
19．1．26	消防職員昇任試験(消防司令)導入
4．1	第10代　協会長　川本 安夫
5．25	化学車更新
8．30	資機材搬送車更新
20．2．9	自治体消防制度６０周年記念公演「ミュージカル『地震・カミナリ・火事・オヤジ』」（サーティホール）
6．22	大東市東諸福女性防火クラブ結成
11．3	元職員　西川 速男　氏　瑞宝双光章受章
11．17	高規格救急自動車(4WD)西分署更新
12．24	ＣＤ－Ｉ型ポンプ車西分署更新
21．1．13	３０m級はしご車第１回目オーバーホール
3．19	東分署移転（野崎三丁目１番２０号）
4．1	第14代　消防長　奥山 武 第4代　協力会会長　生駒 平三
4．29	元職員　中野 光夫　氏　瑞宝双光章受章
6．1	大東市栄和町女性防火クラブ結成
11．3	元職員　安川 博美　氏　瑞宝双光章受章
22．3．16	指揮車更新
4．29	元職員　南野 征治　氏　瑞宝双光章受章
11．3	元職員　岩田　彬　氏　瑞宝双光章受章
11．7	大東市新田女性防火クラブ結成
11．19	高規格救急自動車(4WD)本署更新
12．16	CD－Ｉ型ポンプ車東分署更新
23．3．11	東日本大震災発生
3.11～15	東日本大震災 緊急消防援助隊 大阪府隊第一陣派遣 (消防隊･救急隊)岩手県大槌町
3.13～20	東日本大震災 緊急消防援助隊 大阪府隊第二陣派遣 (消防隊)岩手県大槌町
4．1	第１１代　協会長　東坂 巖 第１５代　消防長　林 顯

年　　月　　日	概　　要
平成23年 4月29日	元職員　勝野 雅志　氏　瑞宝双光章受章
8．25	救助工作車更新
11．3	元職員　樋上 勝次　氏　瑞宝双光章受章
24．1．12	ポンプ３号更新
4．29	元職員　西岡 克巳　氏　瑞宝双光章受章
11．3	元職員　岩熊 大樹　氏　瑞宝双光章受章
25．2．5	危険物号更新
2．6	高規格救急自動車(4WD)東分署更新
5．13	査察号更新
11．3	元職員　三ツ川 一吉　氏　瑞宝単光章受章
11．16	大東市消防協力会30周年記念式典(大東市立総合文化センター)
11．25	自治体消防制度65周年記念全国大会(東京ドーム)
26．3．31	大東市消防本部廃止

（6）四條畷市消防本部　消防組合設立までのあゆみ

昭和46年	四條畷市消防本部（署）発足
	四條畷市消防庁舎増築
	（社）日本船舶振興会から救急車（2B型）の寄贈を受け、消防署に配置
昭和47年	消防庁から四條畷市消防本部、署が優良消防機関として表彰旗を受章
	防火水槽40㎥級を設置（南野二丁目地区）
	指令車兼査察車を消防本部（署）に設置
	消防専用超短波無線電話（基地局1、移動局5、携帯用2）を消防本部に設置開局
昭和48年	防火水槽40㎥級を設置（上田原地区）
	（社）大阪府モーターボート競走会から救急車（2B型）の寄贈を受け消防署に配置
昭和49年	新消防庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階建）業務開始、併せて救急指令装置（B型）を消防本部に設置
	四條畷市ライオンズクラブから照明付広報板の寄贈を受け、消防本部玄関前に設置
	防火水槽40㎥級を設置（下田原地区）
	携帯無線機1基を消防署に設置
昭和50年	第4回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、水上の部（人命救助）で準優勝
	第4回全国消防救助技術大会に出場し、水上の部（人命救助）で入賞
	（社）日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（BD-Ⅰ型）の寄贈を受け、消防署に配置
昭和50年	車載用無線機1基を消防署に配置
昭和51年	スキューバ式潜水器具を、消防署に配置
	第5回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部（障害突破）で入賞
	消防ポンプ自動車(BD-Ⅰ型)、ホームライト軽可搬ポンプを消防署に配置
	監視テレビ装置を設置
	防火水槽40㎥級を設置（逢阪地区）
昭和52年	四條畷市防火協会設立発足
	四條畷ライオンズクラブから指令車兼査察車の寄贈を受け、消防本部に配置
	第6回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部(高所人命救助）で入賞
昭和53年	第7回消防救助技術近畿地区指導会に参加し、陸上の部(ほふく救出、高所人命救助）で入賞
	救急車(2B型)を消防署に配置
昭和55年	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ-A型）を消防署に配置
	第9回消防救助技術近畿地区指導会に参加し、陸上の部(障害突破）で入賞
	携帯無線機1基を消防署に配置
昭和56年	四條畷ライオンズクラブから携帯無線機1基の寄贈を受け、消防署に配置
昭和57年	高圧ガス製造設備を、消防署に配置
	（社）大阪府モーターボート競走会から救急車（2B型）の寄贈を受け、消防署に配置
	第11回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部(障害突破、ほふく救出）

で入賞

昭和57年　消防専用府県共通波基地局無線電話を消防本部に設置開局

昭和58年　四條畷、大東ライオンズクラブから指令車兼査察車の寄贈を受け、消防本部に配置
消防署に配置の携帯無線機2基に全国波を装備
防火水槽40㎥級を設置(中野本町地区)

昭和59年　大東中央、四條畷中央ライオンズクラブから心肺蘇生訓練用人形の寄贈を受け、消防署に配置
第13回消防救助技術近畿地区指導会に参加し、陸上の部(障害突破)で入賞
中野婦人防火クラブが設立発足

昭和60年　第14回消防救助技術近畿地区指導会に参加し、陸上の部(ほふく救出)で入賞
防火水槽40㎥級を設置(南野一丁目地区)

昭和61年　消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を消防署に配置

昭和62年　体力練成器具(バーベル・ダンベルセット、スタンド付プレス用ベンチ、カール台)を消防署に配置
水難救助用ゴムボート(6人乗り)を消防署に配置
スキューバ式潜水器具一式を消防署に配置
(社)大阪府モーターボート競走会から救急車(2B型)の寄贈を受け、消防署に配置
車載用無線機1基を消防署に配置
紫外線殺菌装置を消防署に配置

昭和63年　体力練成器具(バーベルシャフト、ダンベルD型シャフト、マット)を消防署に配置
気象用FAXを消防署に配置
携帯無線機(1W)3基更新し、消防署に配置

平成 元年　救助用万能搬送器具を、消防署に配置
空気呼吸器用軽量ボンベ、軽量滑車、4ポイントブライダル、ワイヤーはしごを消防署に配置
スキューバ式潜水器具一式を消防署に配置
エチレンオキサイドガス滅菌器を消防署に配置
四條畷、大東、四條畷中央ライオンズクラブから消防用自動車(トヨタカローラバン)の寄贈を受け、消防本部に配置

平成 2年　耐熱服2着を消防署に配置
エンジンカッター1基を消防署に配置
ハイパワースプレッター、ハイパワーカッター、フートポンプを消防署に配置
電池式自動吸引器を消防署に配置
枚方信用金庫から普通乗用車の寄贈を受け、消防本部に配置
スキューバ式潜水器具一式を消防署に配置
国道163号清滝トンネル開通に伴い、消防専用基地局を設置開局
119番受信体制の整備(NTT奈良県生駒営業所エリアからの直接受信可)
防火水槽40㎥級を設置(江瀬美町地区)
ガス溶断機一式を消防署に配置

四條畷市幼年消防クラブが設立発足（忍ヶ丘幼稚園、畷幼稚園、星子幼稚園の各幼年消防クラブ）

平成　3年　バッテリー充電機(ハイレートマックス70D)を消防署に配置
油圧式救助器具(エンジンポンプ、ホースリール)を消防署に配置
消防ポンプ付救助車(CD-Ⅱ型)を消防署に配置
車載用無線機(XW)１基をCD-Ⅱ型に設置
救急資機材（聴診器、血圧計、経鼻エアウェイ、マギール鉗子、喉頭鏡、ブレード、LSPアンティショックパンツ、サムスプリント、スティッフネック）を消防署に配置
シールドビーム投光器(500W)、三脚(K-1型)、コードリールを消防署に配置

平成　3年　災害対策事業として、市指定避難場所明示看板(10枚)製作設置
天ぷら油火災実験装置を消防署に配置
救急隊に救急服を採用
(財)日本消防協会から中野婦人防火クラブが表彰旗を受章

平成　4年　消防緊急通信指令施設Ⅰ型導入し、消防署に配置
消防専用電話施設基地局を更新し、消防署に配置
大阪府共済農業協同組合連合会から救急車（2B型）の寄贈を受け、車載用無線機(10W)１基及び心電図伝送装置等を装備し、消防署に配置
田原分署新築にかかる工事実施設計を委託
救急救命士養成課程1名派遣

平成　5年　災害対策事業として、市指定避難場所明示看板(7枚)製作設置
119番受信体制の整備(ブランチ方式から専用受信方式に変更)
田原分署庁舎新築工事着工
マット型空気ジャッキを、消防署に配置
四條畷市防火協会から乗用車(ワゴン7人乗り)の寄贈を受け、消防本部に配置
液晶ビデオ映写機一式を消防署に配置
消防本部庁舎自家発電設備改修(ﾃﾞｨｰｾﾞﾙエンジン出力60KVA)整備
第9回全国婦人消防操法大会に大阪府を代表して、四條畷市中野婦人防火クラブが出場
救急救命士養成課程1名派遣

平成　6年　田原分署開署(4月１日)
水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ-B型)を田原分署に配置
(社)大阪府モーターボート競走会から救急車（2B型）の寄贈を受け、心電図伝送装置等を装備し、田原分署に配置
消防専用電話施設基地局(田原分署前進基地局)を田原分署に配置
単車(カブ50cc)1台を田原分署に配置
バッテリー充電機(ハイレートマックス70D)を田原分署に配置
体力練成器具(バーベル、ダンベル、ベンチ等)を田原分署に配置
トレーニング機器(サイクルエクセサイザー)1台を田原分署に配置
体力測定器具を消防署に配置

天ぷら油火災実験台を消防署に配置
救急救命士養成課程1名派遣

平成 7年　消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を更新し、車載用無線機(10W)、携帯無線機(5W)を装備し、消防署に配置
指令車兼査察車を消防署に配置し、車載用無線機(10W)を装備
清滝婦人防火クラブが設立発足
枚方信用金庫から防護服2着、防毒服5着の寄贈を受け、消防署に配置

平成 8年　耐震性貯水槽(100㎥)を江瀬美地区に設置
消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を更新し、車載用無線機(10W)、携帯無線機(5W)を装備し、消防署に配置
インパルス消火システム(ⅠFEX12リッターバックパック)を消防署に配置
耐震性貯水槽(60㎥)を、滝木間地区に設置
高圧ガス充填設備を消防署に配置
車載用無線機9基、携帯無線機8基に全国共通波増波
救急救命士養成課程1名派遣
四條畷市婦人防火クラブ連絡協議会が設立発足

平成 9年　高規格救急自動車(高度救命処置用資材積載)購入し、車載用無線機(10W)、携帯無線機(5W)を装備、消防署に配置
高規格救急自動車用消毒機(超微粒子噴霧消毒機)、消防署に配置
耐震性貯水槽(100㎥)を北出地区に設置
職員執務服、救助服用アポロキャップを導入
携帯電話(火災調査専用)を予防課に配置
携帯無線機(5W)を更新し、消防署に配置
携帯電話からの119番通報接続機器を消防署に配置
救急救命士養成課程1名派遣

平成10年　耐震性貯水槽(100㎥)を砂地区に設置
携帯無線機(5W)を更新し、消防署に配置
救急救命士養成課程1名派遣
四條畷中央ライオンズクラブから消防用自動車の寄贈を受け、消防署に配置

平成11年　耐震性貯水槽(100㎥)を清滝地区に設置
携帯無線機(5W)を更新し、消防署に配置
救急救命士養成課程1名派遣

平成12年　枚方信用金庫から普通乗用車の寄贈を受け、消防本部に配置
救急救命士養成課程1名派遣

平成13年　(社)大阪府モーターボート競走会から応急手当普及啓発車の寄贈を受け、消防署に配置
高規格救急自動車(高度救命処置用資材積載)購入し、田原分署に配置
救急救命士養成課程1名派遣

平成14年　消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を更新し、消防署に配置

救急救命士養成課程1名派遣

平成15年　消防本部庁舎耐震診断を実施

救急救命士養成課程1名派遣

四條畷中央ライオンズクラブから多目的車両（軽四輪貨物車）の寄贈を受け、消防署配置

平成16年　緊急消防援助隊に登録（消火隊1隊、救急隊1隊）

平成17年　消防本部庁舎耐震改修及び付属棟増設

枚方信用金庫から緊急消防援助隊用資機材エアーテント（アキレスV-45）等の寄贈を受け消防署に配置

平成18年　消防本部庁舎付属棟内に救助訓練施設（ほふく救出用煙道）を設置

第35回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部（ほふく救出）で入賞

消防本部庁舎に屋外横断幕展張施設を設置

田原分署庁舎に屋外懸垂幕展張施設を設置

平成19年　高規格救急自動車（高度救命処置用資材積載）購入し、消防署に配置

四條畷市防火協会から軽四輪貨物車の寄贈を受け、消防署に配置

第36回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部（ほふく救出）で入賞

救助工作車（Ⅱ型）を消防署に配置

平成20年　女性消防吏員初採用（1名）

第37回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部（ほふく救出）で入賞

緊急消防指令台を更新（携帯電話・IP電話発信地表示装置整備）

平成21年　消防本部庁舎に女子用更衣室、浴室等を整備

第38回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部（ほふく救出）で入賞

高規格救急自動車（高度救命処置用資材積載）を更新し、田原分署に配置

平成22年　消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を更新（CAFS1号）し、田原分署に配置

第39回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部（ほふく救出）で入賞

枚方信用金庫から普通乗用車（ハイブリッド仕様）の寄贈を受け、消防本部に配置

平成22年　市制施行40周年記念事業として消防フェアを開催

ドイツ国メアブッシュ市と国際友好都市を提携

原動機付き自転車2台を消防署に配置

平成23年　消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を更新（CAFS2号）し、消防署に配置

東日本大震災被災地（岩手県大槌町）に緊急消防援助隊を派遣（消防隊）

（大阪府隊第1陣4名、第2陣4名、計8名）

東日本大震災で緊急消防援助隊を派遣した功績で総務大臣表彰受章

コミュニティ助成事業の助成を受け、OA機器、心肺蘇生訓練人形、AEDトレーナーを整備

平成24年　消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を更新（CAFS3号）し、消防署に配置

第41回消防救助技術近畿地区指導会に陸上の部（ほふく救出）で出場

岡山女性防火クラブが設立発足

大阪府から権限移譲を受け、『火薬類取締法』『高圧ガス保安法』『液化石油ガスの

保安の確保及び取引の適正化に関する法律』の事務を開始

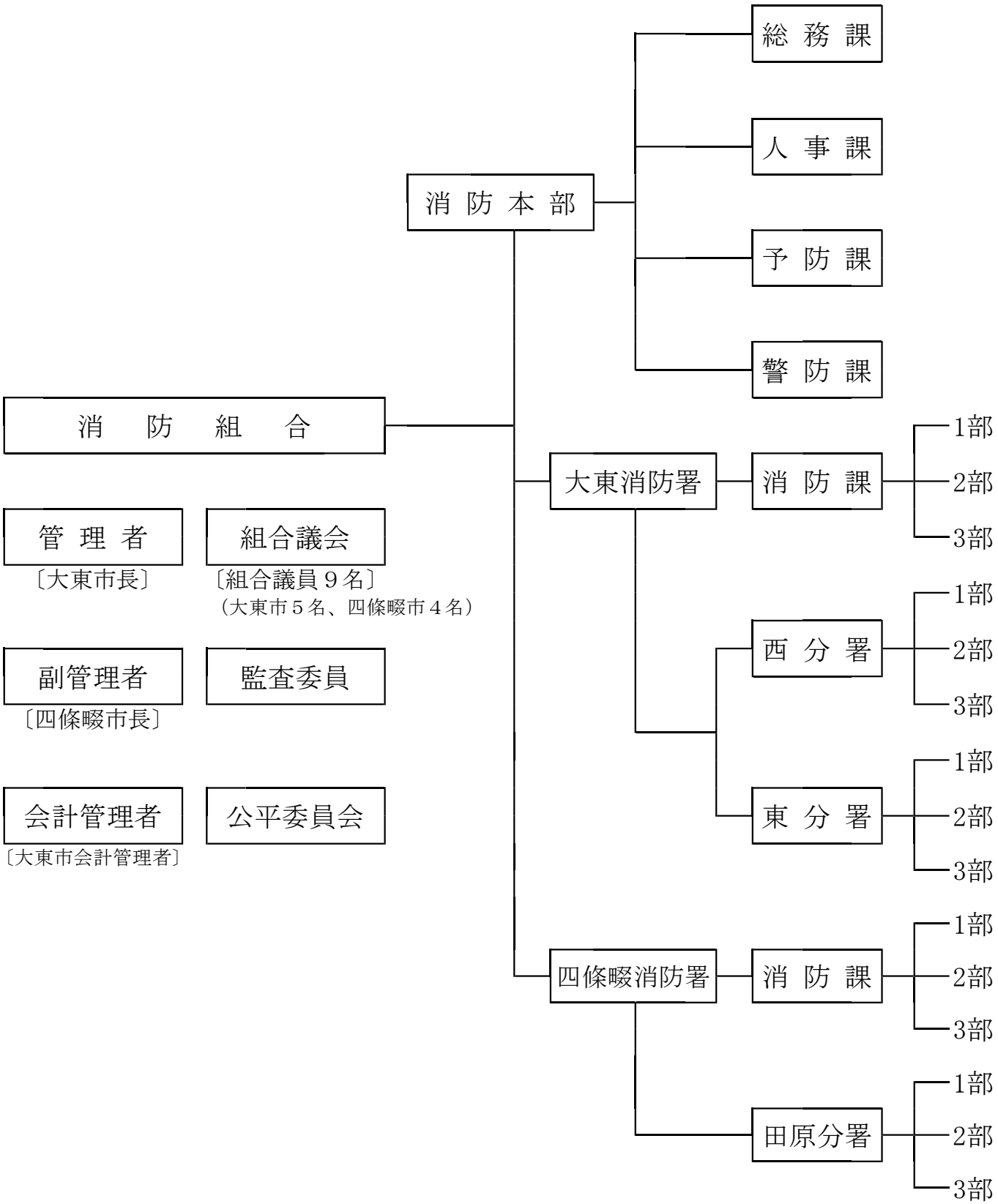
平成25年　第42回消防救助技術近畿地区指導会に陸上の部（ほふく救出）で入賞

平成26年　四條畷中央ライオンズクラブから軽消防自動車の寄贈を受け、四條畷消防署に配置

3月31日 四條畷市消防本部廃止

3　　総　　務

（1） 組 織 図


消 防 組 合
管 理 者
〔大東市長〕
副管理者
〔四條畷市長〕
会計管理者
〔大東市会計管理者〕
組合議会
〔組合議員９名〕
（大東市５名、四條畷市４名）
監査委員
公平委員会
消 防 本 部
総 務 課
人 事 課
予 防 課
警 防 課
大東消防署
消 防 課
1部
2部
3部
西 分 署
1部
2部
3部
東 分 署
1部
2部
3部
四條畷消防署
消 防 課
1部
2部
3部
田原分署
1部
2部
3部

（2）事 務 分 掌

消防本部

《総 務 課》

(1)　議会に関すること。
(2)　公平委員会に関すること。
(3)　行政手続制度に関すること。
(4)　訴訟に関すること。
(5)　企画に関すること。
(6)　消防の広域化に関すること。
(7)　情報公開及び個人情報保護に関すること。
(8)　秘書、渉外及び儀式に関すること。
(9)　広報及び広聴の事務に関すること。
(10)　入札及び契約に関すること。
(11)　公印の保管に関すること。
(12)　文書管理に関すること。
(13)　予算及び決算に関すること。
(14)　例規の制定及び改廃に関すること。
(15)　庁舎の維持管理に関すること。
(16)　財産の取得、処分及び管理に関すること。
(17)　監査事務に関すること。
(18)　統計事務に関すること。
(19)　消防長会事務に関すること。
(20)　他の課の主管に属さないこと。

《人 事 課》

(1)　職員の任免、分限、懲戒、賞罰、服務その他身分に関すること。
(2)　職員の研修及び教養に関すること。
(3)　給与及び旅費の支給に関すること。
(4)　大阪府市町村職員共済組合のほか、職員の社会保険に関すること。
(5)　ほう賞及び表彰に関すること。
(6)　職員の福利厚生、健康管理及び衛生管理に関すること。
(7)　職員の服制及び貸与品に関すること。
(8)　職員の公務災害に関すること。
(9)　職員の退職準備に関すること。
(10)　消防職員委員会に関すること。
(11)　職員互助会に関すること。
(12)　統計事務に関すること。

《予 防 課》

(1) 予防広報に関すること。
(2) 各種火災予防運動に関すること。
(3) 防火管理者等の指導に関すること。
(4) 危険物及び指定可燃物に関すること。
(5) 立入検査に関すること。
(6) 危険物取扱者の指導に関すること。
(7) 火薬類の取締りに関すること。
(8) 高圧ガスの保安に関すること。
(9) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関すること。
(10) 圧縮アセチレンガス等の防火指導に関すること。
(11) 建築同意事務及び消防用設備等に関すること。
(12) 火を使用する設備等の防火指導に関すること。
(13) 防火推進団体事務の総括に関すること。
(14) 統計事務に関すること。

《警 防 課》

(1) 消防隊の業務に関すること。
(2) 救助業務に関すること。
(3) 救急業務に関すること。
(4) 災害対応に関すること。
(5) 消防水利に関すること。
(6) 開発許可申請の審査に関すること。
(7) 車両及び機械器具に関すること。
(8) 緊急消防援助隊に関すること。
(9) 統計事務に関すること。
(10) 消防通信に関すること。
(11) 消防相互応援その他協定に関すること。
(12) その他、消防警備に関すること。

消 防 署

《消防課》

(1) 水火災等の災害に関すること。
(2) 救急に関すること。
(3) 救助に関すること。
(4) 火災予防に関すること。
(5) 火災予防運動に関すること。
(6) 防火管理者等の指導に関すること。
(7) 立入検査に関すること。
(8) 消防通信に関すること。

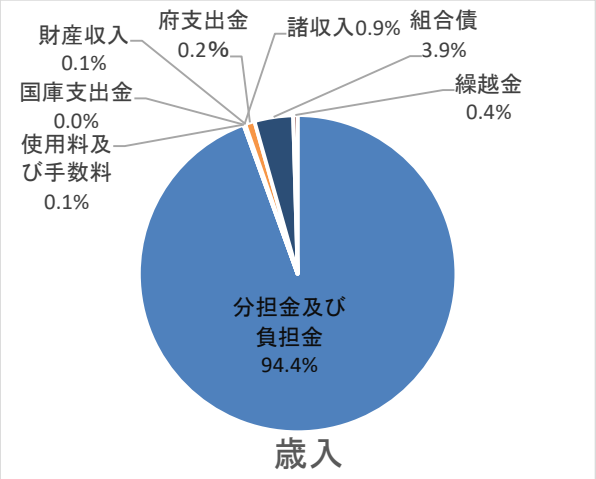
(9)　消防水利に関すること。
(10)　火災等の原因及び損害の調査に関すること。
(11)　消防団の訓練指導等に関すること。
(12)　防火推進団体に関すること。
(13)　統計事務に関すること。
(14)　課の庶務に関すること。

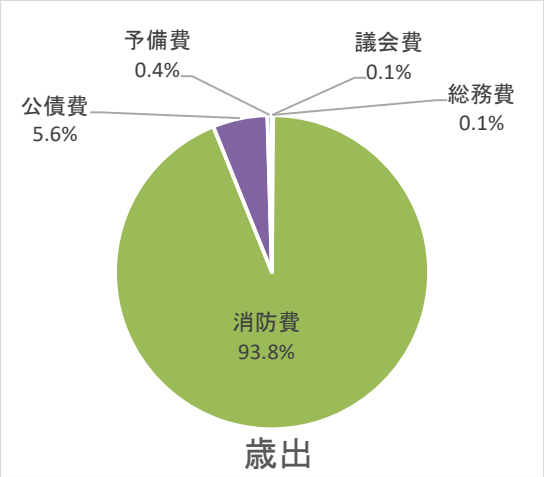
《分　　署》
(1)　水火災等の災害に関すること。
(2)　救急に関すること。
(3)　救助に関すること。
(4)　火災予防に関すること。
(5)　火災予防運動に関すること。
(6)　防火管理者等の指導に関すること。
(7)　立入検査に関すること。
(8)　消防通信に関すること。
(9)　消防水利に関すること。
(10)　火災等の原因及び損害の調査に関すること。
(11)　消防団の訓練指導等に関すること。
(12)　統計事務に関すること。
(13)　分署の庶務に関すること。

（3） 予　算

令和7年度当初予算　　（単位：千円）

歳　入			歳　出		
分担金及び負担金	2,024,584	94.4%	議会費	1,193	0.1%
使用料及び手数料	521	0.1%	総務費	1,220	0.1%
国庫支出金	0	0.0%	消防費	2,011,072	93.8%
府支出金	3,403	0.2%	公債費	120,237	5.6%
財産収入	283	0.1%	予備費	10,000	0.4%
諸収入	20,631	0.9%			
組合債	84,300	3.9%			
繰越金	10,000	0.4%			
合　計	2,143,722	100%	合　計	2,143,722	100%





組合構成市負担割合　　（単位：千円）

構　成　市	令和6年度 基準財政需要額（消防費）	負担割合（%）
大　東　市	1,495,862	64.27%
四　條　畷　市	831,440	35.73%
合　計	2,327,302	100%

（4） 決算状況

（単位:円）

区分＼年度		令和6年度	令和7年度	前年度比較
議会費		1,106,940	1,162,218	55,278
総務費		1,080,630	1,107,619	26,989
消防費		2,401,053,136	2,032,668,267	△ 368,384,869
	給料	743,338,817	762,961,316	19,622,499
	職員手当等	740,079,880	709,127,712	△ 30,952,168
	共済費	275,052,419	288,419,106	13,366,687
	報酬	0	396,017	396,017
	報償費	0	54,154	54,154
	旅費	762,430	441,443	△ 320,987
	需用費	62,026,091	113,315,869	51,289,778
	役務費	9,545,673	9,345,935	△ 199,738
	委託料	500,797,583	18,279,333	△ 482,518,250
	使用料及び賃借料	9,462,450	27,392,406	17,929,956
	工事請負費	0	0	0
	原材料費	25,940	23,071	△ 2,869
	備品購入費	36,378,587	86,393,850	50,015,263
	負担金補助及び交付金	22,956,666	15,372,855	△ 7,583,811
	補償補填及び賠償金	25,000	0	△ 25,000
	公課費	601,600	1,145,200	543,600
公債費		120,116,772	116,829,477	△ 3,287,295
合計		2,523,357,478	2,151,767,581	△ 371,589,897

管内人口、世帯に対する決算割合

（単位:円）

年度＼区分		決算額	1人当たりの決算額	1世帯当たりの決算額
令和6年度	人口169,052 世帯:83,575	2,523,357,478	14,926	30,192
令和7年度	人口168,014 世帯:84,092	2,151,767,581	12,807	25,588

※ 人口、世帯にあっては年度末現在の数字

(5) 消防相互応援協定

名　　称	締結年月日	協　定　先	協定事項
大阪府北ブロック消防相互応援協定	昭和40年6月22日	吹田市、守口市、高槻市、枚方市、茨木市、寝屋川市、門真市、摂津市、交野市、島本町、枚方寝屋川消防組合、守口市門真市消防組合	消防・救急業務
大阪市・大東四條畷消防組合消防相互応援協定	昭和40年12月1日	大阪市	〃
東大阪市・大東四條畷消防組合消防相互応援協定	昭和42年6月1日	東大阪市	〃
北部生駒山系林野火災消防相互応援協定	昭和44年9月1日	交野市､生駒市	林野火災
大阪市・大東四條畷消防組合航空消防応援協定	昭和45年10月1日	大阪市	航空機による消防業務
大阪府下広域消防相互応援協定	昭和63年9月1日	府下全域	大規模な災害及び火災・救急等
第二京阪道路（枚方東ＩＣから門真ＩＣ）消防相互応援協定	平成22年1月27日	京田辺市、交野市、枚方寝屋川消防組合、守口市門真市消防組合	消防・救急業務
生駒市・大東四條畷消防組合消防相互応援協定	平成27年5月19日	生駒市	消防・救急業務

その他の協定等

名　　称	締結年月日	協　定　先
市域境界線上に位置する消防対象物の取扱いに関する協定	昭和53年12月20日	大阪市
〃	昭和54年3月31日	東大阪市、枚方寝屋川消防組合、守口市門真市消防組合、交野市
ガス漏れ及び爆発事故の防止対策に関する申し合わせ	昭和56年8月1日	大阪瓦斯（株）東部導管事業所
大阪府下火災調査相互応援に関する申し合わせ	平成13年4月12日	府下全域
火災予防及び健康増進に関する相互連携協定	令和5年8月1日	千成ヤクルト販売株式会社
火災予防及び安心・安全なまちづくりに関する連携協定	令和6年9月12日	日本郵便株式会社
災害時における消防用水の確保に関する協定	令和7年10月23日	大阪広域生コンクリート共同組合

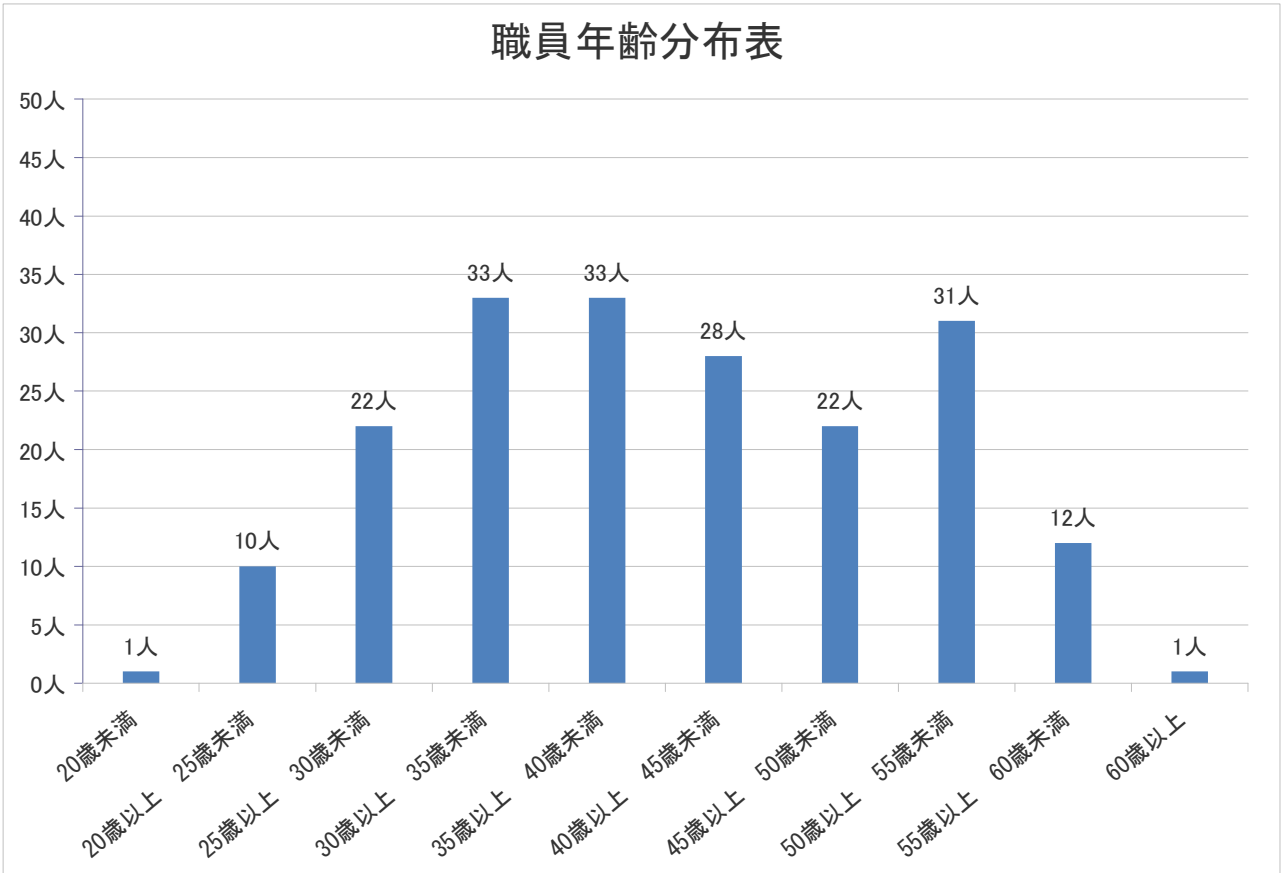
4　人　事

（1） 階級別年齢構成

令和７年４月１日現在

階級別 / 年齢別	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
職員数	1	3	8	37	51	45	32	16	193
平均年齢	57.0	55.7	54.0	50.8	43.4	35.8	29.6	23.2	39.8
20歳未満								1	1
20歳以上　25歳未満								10	10
25歳以上　30歳未満						1	16	5	22
30歳以上　35歳未満					1	18	14		33
35歳以上　40歳未満					14	18	1		33
40歳以上　45歳未満					19	8	1		28
45歳以上　50歳未満			1	15	6				22
50歳以上　55歳未満		1	3	17	10				31
55歳以上　60歳未満	1	2	4	5					12
60歳以上					1				1

※再任用職員及び構成市からの派遣職員を除く。

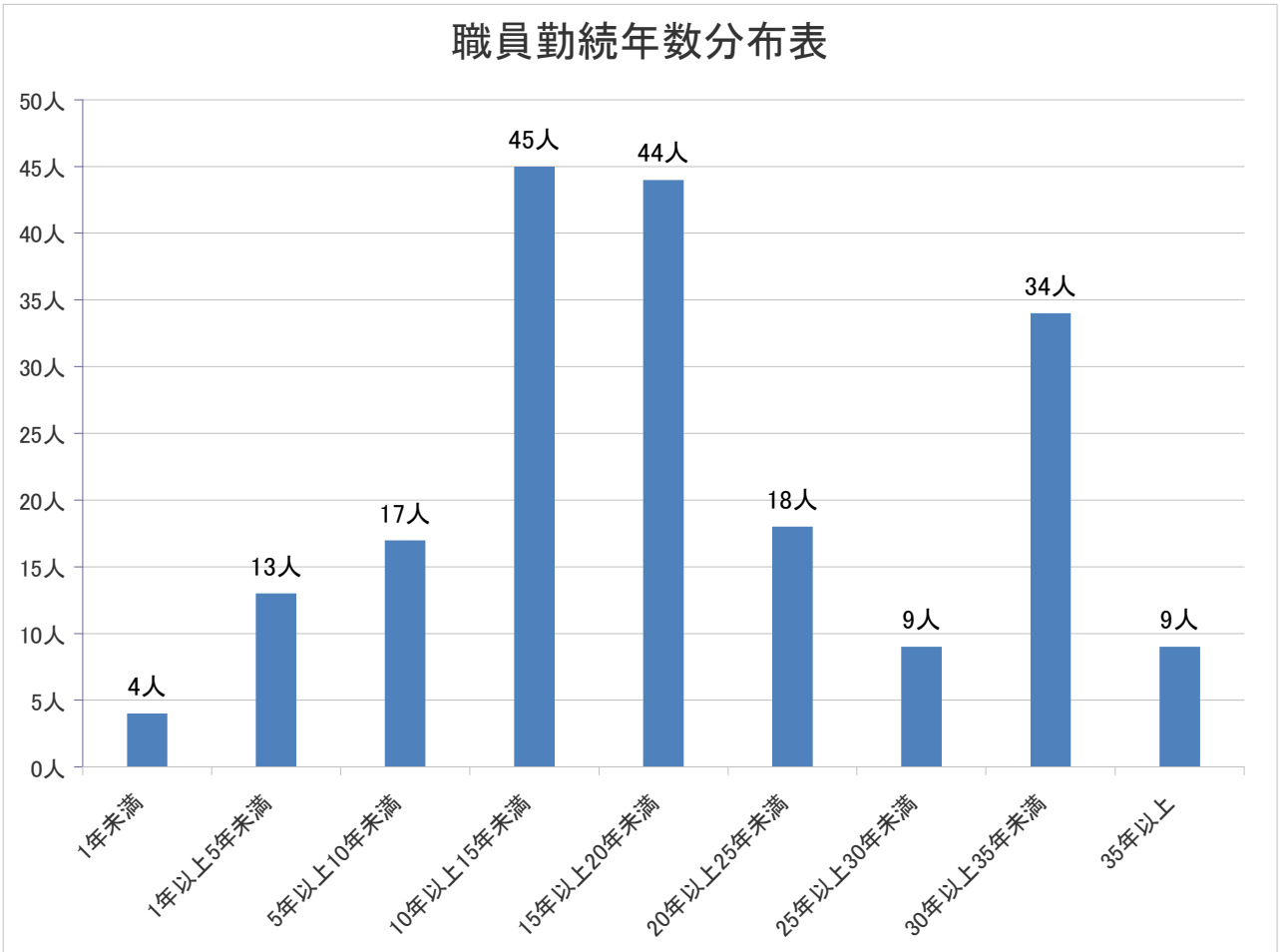


(2)階級別勤続年数

令和７年４月１日現在

階級別 / 勤続年数別	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
合　計	1	3	8	37	51	45	32	16	193
1年未満								4	4
1年以上5年未満							3	10	13
5年以上10年未満						3	12	2	17
10年以上15年未満					5	24	16		45
15年以上20年未満					25	18	1		44
20年以上25年未満				9	9				18
25年以上30年未満			1	8					9
30年以上35年未満	1	2	5	16	10				34
35年以上		1	2	4	2				9

※再任用職員及び構成市からの派遣職員を除く。



(3)職員配置状況

令和7年4月1日現在

所属別＼階級別			消防吏員								合計
			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
定員			195								—
実員			1	3	8	37	51	45	32	16	193
消防本部	消防長		1								1
	消防次長			1							1
	次長				1						1
	各課	総務課			1	2	4	1			8
		人事課			1	2		2	1	3	9
		予防課			1	2	4	1	1		9
		警防課				2	1	2			5
	小計		1	1	4	8	9	6	2	3	34
消防署	大東消防署			1	2	16	27	28	14	9	97
		署長		1							1
		副署長			2						2
		消防課				1	2				3
		消防課(各部)				9	13	12	7	2	43
		西分署(各部)				3	6	8	3	4	24
		東分署(各部)				3	6	8	4	3	24
	四條畷消防署			1	2	13	15	11	16	4	62
		署長		1							1
		副署長			1						1
		消防課			1	2					3
		消防課(各部)				8	9	8	9	4	38
		田原分署(各部)				3	6	3	7		19
	小計			2	4	29	42	39	30	13	159

※再任用職員及び構成市からの派遣職員を除く。

職員派遣状況

令和7年4月1日現在

団体別＼階級別		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
		消防吏員								
派遣している職員										
構成市	大東市					1				1
構成市	四條畷市				1					1
消防学校等教育機関										
大阪府										
その他の団体										
合計					1	1				2
派遣を受けている職員										
構成市	大東市									
構成市	四條畷市									
合計										

※再任用職員を除く。

再任用職員配置状況

令和7年4月1日現在

所属別＼階級別			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
			消防吏員								
消防本部					1						1
消防署	大東消防署（小計）										
消防署		消防課									
消防署		消防課(各部)									
消防署		西分署(各部)									
消防署		東分署(各部)									
消防署	四條畷消防署（小計）						1	2			3
消防署		消防課					1				1
消防署		消防課(各部)									
消防署		田原分署(各部)						2			2
派遣	大東市										
派遣	四條畷市										
合計					1		1	2			4

（4） 職員資格取得状況

令和7年4月1日現在

資格別＼階級別		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
自動車運転免許	大型免許	1	3	7	30	29	25	10		105
	中型免許				2	12	13	15	9	51
	中型免許(８ｔ限定)			1	5	7	7	1		21
	準中型免許							1	2	3
	普通免許					2		5	4	11
消防設備士	(甲種)					2				2
	(乙種)	1	1	2	4	7	4	2		21
危険物取扱者	(甲種)				1	2	1			4
	(乙種)	1	1	7	26	35	27	14	4	115
	(丙種)			1		2	3			6
小型船舶操縦士		1	3	3	18	3	6	7		41
玉掛技能者				2	15	17	22	6		62
クレーン運転技能者				2	15	16	21	7		61
高圧ガス製造保安責任者			2	2	4	1				9
ガス溶接技能者			2	4	12	12	6	1		37
陸上特殊無線技士		1	3	8	36	49	34	8	12	151
高所作業車運転技能者					10	15	17	13		55
特定化学物質等作業主任者		1	3	1	10	15	7	1		38
衛生管理者			1	2	4					7
救急隊員				6	26	33	31	25	10	131
救急救命士		1	3	2	10	19	14	7	5	61
潜水士			2	2	14	15	13	3		49

※再任用職員を除く

(5) 職員研修派遣状況

令和7年度中

実施機関	種別		実施回数	派遣人数
消防大学校	総合教育	上級幹部科	1	1
大阪府立消防学校	初任教育(前期)		1	3
	幹部教育	初級幹部科	1	1
		中級幹部科	1	1
		上級幹部科	0	0
	専科教育	予防科防火査察	1	2
		予防科消防用設備	1	1
		予防科危険物	0	0
		警防科	1	2
		火災調査科	1	2
		救助科	2	2
	特別教育	採用3年目研修	1	2
		はしご車技能講習	1	2
		通信指令研修	1	1
		教育技法研修	1	1
		実火災体験型訓練指導者研修	1	3
		水難救助技術研修	0	0
		女性活躍推進研修	1	1
消防長会受託研修	大阪市受託	方面隊研修	1	1
		火災調査研修(調査鑑識短期コース)	1	1
		違反処理指導者研修(短期コース)	0	0
		指令情報センター研修	0	0
大阪市消防局	受託研修	上級予防研修(査察コース)(危険物・保安コース)	2	2
		上級救助研修	1	1
		指揮研修	1	1
		水難救助基本技術研修	0	0
		消火技術研修	1	1
		特殊災害研修	1	1
		救助隊電気災害研修	1	1
経産省	保安三法関係研修(高圧ガス)		1	1
	保安三法関係研修(液化石油ガス)		0	0
その他	行政機関向け高圧ガス法令等研修		0	0
北河内MC医療機関	救急救命士再教育病院実習		31	31
	救急救命士気管挿管病院研修		1	1
	救急救命士ビデオ喉頭鏡病院実習		2	2
	特定化学物質講習		1	1
	指導救命士養成課程		1	1
実務担当者講習	安全運転管理者講習		1	4
	安全衛生推進者講習		1	2
	衛生管理者研修		0	0
	足場組立等特別教育		1	1
	第二級特殊無線技士養成講習		1	6
	主任無線従事者講習		1	2
	小型移動式クレーン講習		1	1
	高所作業車運転講習		1	1
	玉掛技能講習		1	1
	大型・中型自動車免許取得		3	3
	こころのケア研修		1	1
	大阪府機関員養成講習		1	1

5　消　防　署

（1） 消防車両等の配置

令和７年度末現在

所属	名称	車名	型　式	年式	総排気量（CC）	ポンプ規格	備　考
消防本部	本部公用車	ニッサン	6AA-GC28	令和5年	G1430		
	総務連絡車	ダイハツ	EBD-S321V	平成26年	G650		
	危険物車	ニッサン	HBD-DR17V	平成30年	G650		
	防火広報車「水来」	ニッサン	EBD-DR16T	令和2年	G650		
	査察車	スズキ	5BD-DA17V	令和4年	G650		
	装備車	ニッサン	TC-SK82TN	平成19年	G1780		
	広報車	トヨタ	6BA-MXAA54	令和2年	G1980		
大東署	大東ポンプ	日野	TKG-XZU640M	平成26年	D4000	A-2	CAFS
	大東ポンプ2	日野	BDG-XZU334M	平成22年	D4000	A-2	CAFS
	大東梯子	日野	QDG-PR1APEF	平成29年	D8860		
	大東高所	イスズ	TKG-NKR85YN	平成27年	D2990		
	大東指揮	トヨタ	3DF-GDH206K	令和4年	D2750		
	大東救急	ニッサン	3BF-CS8E26改	令和6年	G2480		
	大東救急2	トヨタ	CBF-TRH226S	令和元年	G2690		
	大東調査	マツダ	ABF-SK82M	平成22年	G1780		
	大東支援	トヨタ	LDF－KDH206V	平成29年	D2980		
西分署	西ポンプ	イスズ	2PG-NMS88AN	令和7年	D2990	A-2	
	西ポンプ2	日野	BDG-XZU334M	平成22年	D4000	A-2	CAFS
	西救急	トヨタ	3BF-TRH226S	令和3年	G2690		
	西化学	日野	BDG-FD7JEWA改	平成19年	D6400	A-2	
	西連絡車	ダイハツ	EBD-S321V	平成25年	G650		
東分署	東ポンプ	日野	2RG-XZU640M	令和5年	D4000	A-2	CAFS
	東救急	トヨタ	3BF-TRH226K改	令和6年	G2690		
	大東救助	日野	BDG-GX7JGWA改	平成23年	D6400		
	東連絡車	ダイハツ	EBD-S321V	平成25年	G650		
四條畷署	畷ポンプ1	日野	TPG-XZU640M	平成30年	D4000	A-2	CAFS
	畷ポンプ2	日野	SKG-XZU640M	平成23年	D4000	A-2	CAFS
	東ポンプ2	日野	SKG-XZU685M	平成24年	D4000	A-2	CAFS
	畷救助	日野	2KG-GX2ABA	令和4年	D5120		
	畷活動	トヨタ	LDF-KDH206V改	平成27年	D2980		
	畷救急	ニッサン	3BF-CS8E26改	令和8年	G2480		
	畷救急2	トヨタ	CBF-TRH226S	平成31年	G2690		
	畷連絡車	ダイハツ	EBD-S321V	平成26年	G650		
	畷公用車	トヨタ	DAA-ZVW30	平成22年	G1790		
田原分署	田原ポンプ	日野	SDG-GD7JGAA改	平成27年	D6400	A-2	CAFS
	田原救急	トヨタ	3BF-TRH226S	令和4年	G2690		
	田原連絡車	三菱	GBD-U62V	平成19年	G650		

（2）通信施設

令和7年度末現在

所属	名称							
消防本部・大東消防署	高機能消防指令センター（Ⅱ型統合位置情報システム）	緊急通報用呼専用回線	回線数					
		専用回線	非常用衛星通信電話回線					
			署所指令回線					
			転送回線					
			順次指令回線					
		指令装置	自動出動指令装置					
			地図検索装置					
			署所端末装置					
			指令伝送装置					
		大型表示盤	支援情報表示盤					
			多目的情報表示盤					
			車両運用表示盤					
			屋外表示盤					
			署所表示盤					
		無線統制台（指揮台）						
		車両運用管理装置						
		車両運用モニター装置（各署各車両）						
		メール119受信装置						
		119番緊急通報用FAX						
		全国瞬時警報システム（J－ALERT）						
		気象情報収集装置						
		音声合成装置						
		多言語通訳						
	緊急通報	NET119緊急通報システム						
	映像受信	タブレット型映像受信装置						
	有線電話	加入電話						
	FAX電話	ファクシミリ電話装置						
	災害情報電話	災害情報案内						

種別		活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3
基地局		○	○	○	○	○	○	○
移動局	可搬型	○	○	○	○	○	○	○
	車載型	○	○	○	○	○	○	○
	携帯型	○	○	○	○	○	○	○

西分署	有線電話		加入電話					
			署所指令専用線					
			署所専用電話					
	FAX電話		フ ァ ク シ ミ リ 電 話 装 置					
	種別		活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3
	移動局	卓上型	○	○	○	○	○	○	○
		車載型	○	○	○	○	○	○	○
		携帯型	○	○	○	○	○	○	○
東分署	有線電話		加入電話					
			署所指令専用線					
			署所専用電話					
	FAX電話		フ ァ ク シ ミ リ 電 話 装 置					
	種別		活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3
	移動局	卓上型	○	○	○	○	○	○	○
		車載型	○	○	○	○	○	○	○
		携帯型	○	○	○	○	○	○	○
四條畷消防署	有線電話		加入電話					
			署所指令専用線					
			署所専用電話					
	FAX電話		フ ァ ク シ ミ リ 電 話 装 置					
	高機能消防指令センター関連		車 両 運 用 モ ニ タ ー 装 置 （ 各 署 各 車 両 ）					
	種別		活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3
	移動局	卓上型	○	○	○	○	○	○	○
		車載型	○	○	○	○	○	○	○
		携帯型	○	○	○	○	○	○	○
田原分署	有線電話		加入電話					
			署所指令専用線					
			署所専用電話					
	FAX電話		フ ァ ク シ ミ リ 電 話 装 置					
	種別		活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3
	基地局		○	○	○	○	○	○	○
	移動局	可搬型	○	○	○	○	○	○	○
		車載型	○	○	○	○	○	○	○
		携帯型	○	○	○	○	○	○	○

（3） 訓練指導等の実施状況

対象	学校関係	事業所関係	地域住民	署内見学	合計
回数	46	103	22	17	188
参加人員	10,739	6,706	1,014	921	19,380
延べ時間	38:50	81:30	23:00	19:50	163:10

（4） 水利の使用状況

水利別	消火栓	防火水槽	プール	池	川	積載水	その他	計
回　数	407					16		423
水量(㎥)	2,478					8		2,486

（5） 通常業務

活動区分	警備・踏査	訓練関係	予防・防火指導	教養・研修	情報管理	整備・保全	その他	合 計
回数	564	1,366	238	282	68	1,914	33	4,465
延べ人員	1,967	5,222	993	1,565	281	14,078	187	24,293
延べ時間	654:10	2053:50	264:10	368:00	144:15	1128:30	61:00	4673:55

（6） 通信指令室

災害種別通報内訳件数

	119		加入電話	Eメール NET	FAX	駆け付け	その他	合　計
	固定・IP	携帯						
火災	7	24	5				11	47
救急	3,854	5,661	433	3		26	1,025	11,002
救助	4	18	12				1	35
警戒・その他	35	844	37			1	38	955
計	3,900	6,547	487	3		27	1,075	12,039
	10,447							



（7）消防水利の概況

令和7年度末現在

区分			大東市			四條畷市		合計
			大東署管内	西分署管内	東分署管内	四條畷署管内	田原分署管内	
消火栓	公設消火栓の配管口径	７５㎜	30	45	57	96	40	268
		１００㎜	100	119	118	99	26	462
		１５０㎜	339	420	318	123	40	1,240
		２００㎜	38	94	85	111	17	345
		２５０㎜	19	6		44	3	72
		３００㎜	61	69	47	33	1	211
		３５０㎜	6			1	1	8
		４００㎜	5	5	3	5		18
		４５０㎜				4		4
		５００㎜	5		4	7		16
		６００㎜	27	12	12	4		55
		600㎜超			1			1
	合計		630	770	645	527	128	2,700
防火水槽	公設		37	24	45	31	18	155
	私設		24	44	36	41	29	174
	合計		61	68	81	72	47	329

※ 私設消火栓及びその他の水利(プール等)は除く。

(8)消防資機材等保有状況

令和7年度末現在

分類	資器材名	数量
放水器具	筒先	81
	ホース	778
	可搬式放水ターレット	3
	ラインプロポーショナー	1
	ジェットシューター	55
	林野火災用多口放水セット(ドラゴン)	4
	泡消火薬剤	67
	簡易水槽	6
一般救助用具	かぎ付はしご	11
	三連はしご	16
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	3
	空気式救助マット	2
	サバイバースリング又は救助用縛帯	19
	平担架	3
重量物排除用器具	可搬ウインチ	5
	ワイヤーロープ	22
	マンホール救助器具	3
	マット型救助ジャッキ	3
	救助用支柱器具	3
	油圧スプレッダー(大型含む)	2
	油圧ジャッキ	2
切断用器具	油圧切断器具(大型含む)	3
	エンジンカッター	12
	ガス溶断機	2
	チェーンソー	2
	鉄線カッター	27
	空気鋸	2

分類	資器材名	数量
破壊用器具	万能斧	53
	削岩機	3
	ハンマードリル	3
	ハンマー	14
	携帯用コンクリート破壊器具	2
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	8
	有毒ガス測定器	1
	放射線測定器	6
呼吸保護用器具	空気呼吸器	47
	送排風機	2
隊員保護用器具	帯電衣セット	6
	携帯警報器	44
	防毒マスク	16
	安全帯	18
	陽圧式化学防護服	4
	化学防護服（陽圧式除く）	23
検索用器具	簡易画像探索機	2
水難救助用器具	救命胴衣	52
	救命ボート	4
	救命浮環	13
	浮標	1
山岳救助用器具	バスケット担架	5
その他の救助用器具	緩降機	1
	投光器	17
	携帯拡声器	17
	携帯無線機	19
	応急処置用セット	3
	発電機	19
高度救助用器具	熱画像直視装置	3

（9）出動状況

出動区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	件数 火掛	2	4	4	6	3		1	3	2	1	1	1	28
	件数 その他	1	2	4	1		1		4	3	1	1	1	19
	台　数	16	59	57	45	23	2	6	37	19	11	11	14	300
	人　員	53	205	200	155	79	7	21	122	63	36	37	47	1,025
救急	件　数	1,144	968	1,001	862	886	939	1,002	1,038	920	951	1,045	1,002	11,758
	台　数	1,228	1,030	1,071	903	917	987	1,048	1,102	985	1,003	1,107	1,067	12,448
	人　員	3,779	3,163	3,487	2,827	2,848	3,030	3,250	3,444	3,043	3,055	3,337	3,293	38,556
	PA件数	85	63	70	41	31	48	46	64	65	52	62	65	692
火災外	件　数	30	42	37	28	31	27	32	32	26	31	28	39	383
	台　数	60	59	64	55	51	49	51	62	44	44	57	47	643
	人　員	217	219	229	210	179	179	187	212	152	159	200	175	2,318
救助	件　数	2	9	8	11	7	5	5	10	5	6	9	7	84
	台　数	11	67	65	78	46	25	26	64	34	35	56	40	547
	人　員	39	230	227	274	154	86	89	235	109	113	190	124	1,870

PAとは、救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急活動を行うことの総称です。

（10）火災の概況

区分 / 年別		件数					うち爆発	焼損面積		死傷者		損害額(千円)					り災世帯数
		建物	林野	車両	その他	合計		建物 (㎡)	林野 (a)	死者 (人)	負傷者 (人)	建物	林野	車両	その他	合計	
令和3年	大東市	25	1	2	6	34		271.6	4	1	3	83,081		320	959	84,360	39
	四條畷市	2		2	1	5						14		387		401	3
令和4年	大東市	11	1	1	6	19		899.0	8	1	6	149,699		16	2,798	152,513	18
	四條畷市	9	1	1	3	14		35.0	9		3	16,960		4		16,964	12
令和5年	大東市	14		1	5	20		1,063.0			6	84,158		283	4	84,445	12
	四條畷市	11		1	6	18		109.0		1	2	167,148		52	1,016	168,216	7
令和6年	大東市	13	1	2	8	24		395.6	18	4	1	32,037		200	20,188	52,425	15
	四條畷市	5		5	1	11		1,601.0				165,642		888	30	166,560	24
令和7年	大東市	18	1	2	6	27		552.0		1	13	107,834		19	43	107,896	34
	四條畷市	10	1	3	6	20		1,530.0	8			170,438		75	23	170,536	15

（11）曜日別火災発生状況

種別 / 曜日別	火災種別					うち爆発
	総数	建物	林野	車両	その他	
総数	47	28	2	5	12	
日	4	3			1	
月	8	3	1		4	
火	7	5		1	1	
水	5	3			2	
木	9	4		3	2	
金	8	5	1	1	1	
土	6	5			1	
不明						

（12）出火時刻別火災状況

種別／時間別	火災種別					うち爆発
	総数	建物	林野	車両	その他	
総　　数	47	28	2	5	12	
0時～ 1時	1	1				
1時～ 2時	1	1				
2時～ 3時						
3時～ 4時	1				1	
4時～ 5時	1				1	
5時～ 6時	3	1		1	1	
6時～ 7時	2	1		1		
7時～ 8時	3	1		1	1	
8時～ 9時	2	1	1			
9時～10時	1				1	
10時～11時	3	2			1	
11時～12時	4	2			2	
12時～13時	3	3				
13時～14時	2	1			1	
14時～15時	2	1	1			
15時～16時	3	2			1	
16時～17時	4	3		1		
17時～18時	1	1				
18時～19時	1	1				
19時～20時	2	2				
20時～21時	6	4		1	1	
21時～22時						
22時～23時	1				1	
23時～24時						
不　　明						

（13）風速･湿度別火災発生状況

風速・湿度		火災種別					うち爆発
		件数	建物	林野	車両	その他	
総数		47	28	2	5	12	
0以上～3未満 (m)	不明						
	35(%)未満	3	3				
	35～55	20	8	2	2	8	
	55～75	13	11		1	1	
	75以上	5	2		2	1	
3以上～6未満 (m)	不明						
	35(%)未満	1	1				
	35～55	2	2				
	55～75	3	1			2	
	75以上						
6以上～9未満 (m)	不明						
	35(%)未満						
	35～55						
	55～75						
	75以上						
9以上 (m)	不明						
	35(%)未満						
	35～55						
	55～75						
	75以上						
不明	不明						
	35(%)未満						
	35～55						
	55～75						
	75以上						

（14） 原因別火災状況

項目 / 年別	たばこ	火遊び	たき火	こんろ	ストーブ	放火	放火の疑い	マッチ・ライター	電灯・電話等の配線	電気機器・電気装置	その他	不明	合計
令和3年	1	1		2	2	3	2	1	7		13	7	39
令和4年	3		1				2	1	2	1	16	7	33
令和5年	7	1		3		1	1	1	2	1	13	8	38
令和6年	3	2		3	1	3	3			5	10	5	35
令和7年	7	3		5	2	3	1	2	1	3	14	6	47

注）火災の概況等については、国が発行する消防白書の取り扱い等に準ずるため、当該消防年報刊行後に修正となる場合があります。



【放火による火災】



【寝たばこ等による火災】



【火遊びによる火災】

（15）救急概要

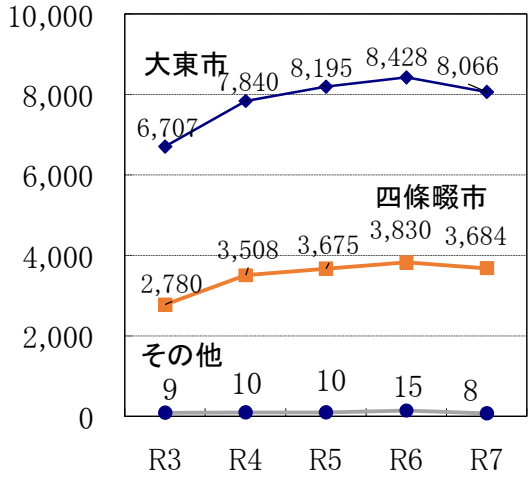
本組合における令和7年中の救急概要は、出場件数が11，758件で前年より515件（-4．2%）減少しており、1日平均32．2件の割合で出場したことになります。

事故種別で分類すると、急病が8，093件（68．8%）で最も多く、次いで一般負傷の1，836件（15．6%）、交通事故の706件（6．0%）となっています。

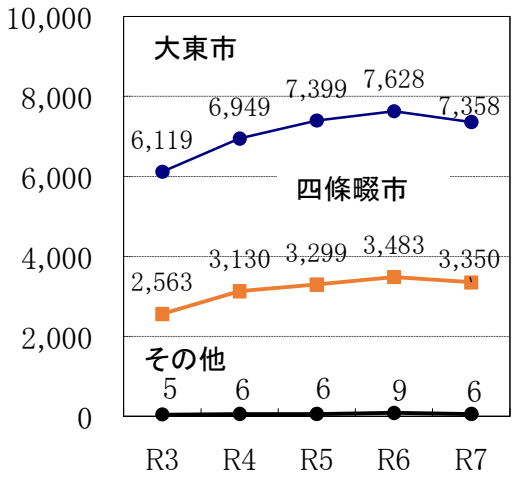
搬送人員については10，714人で前年より406人（－3．65%）減少しています。市民15．7人に1人が救急車を利用したことになります。

傷病程度別では重症以上が261人（2.4%）、中等症4，660人（43．5%）、軽症5，791人（54．1%）となっています。

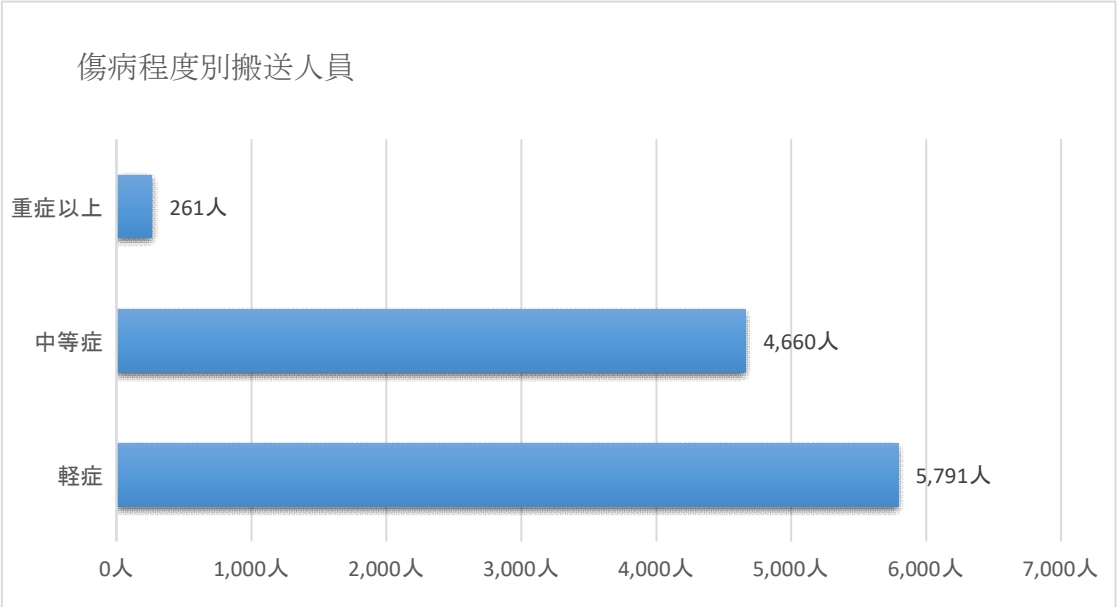
出場件数の推移



搬送人員の推移



※その他とは、大東市、四條畷市以外へ出場した件数及び人員であり、平成25年以前の統計では各市の件数等に含めています。



（16）事故種別救急出場件数

区分／年別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害行為	自損行為	急病	その他 転院搬送	その他 医師搬送	その他 資機材搬送	その他 その他	合計
令和３年	大東市	74		1	531	57	31	963	26	49	4,620	335	1		19	6,707
	四條畷市	6	1		227	18	21	429	11	15	1,927	114			11	2,780
	その他				9											9
令和４年	大東市	30			561	74	47	1,037	30	59	5,638	354		1	9	7,840
	四條畷市	19		1	216	19	29	517	5	15	2,540	142			5	3,508
	その他				7			1			2					10
令和５年	大東市	35			605	57	45	1,172	22	52	5,783	411			13	8,195
	四條畷市	25			279	23	22	546	14	23	2,599	135			9	3,675
	その他	1			4			2			2				1	10
令和６年	大東市	34		1	541	51	43	1,136	30	62	5,982	525			23	8,428
	四條畷市	19			216	14	40	584	13	32	2,772	127			13	3,830
	その他	2			8						5					15
令和７年	大東市	52		2	497	67	45	1,249	32	69	5,461	566			26	8,066
	四條畷市	21			204	22	31	587	9	21	2,631	147			11	3,684
	その他	2			5						1					8

（17）月別救急出場件数

月別／年別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
令和３年	大東市	549	485	483	562	542	542	623	586	549	596	581	609	6,707
	四條畷市	215	194	228	223	236	235	254	233	206	234	254	268	2,780
	その他	5				1			1			2		9
令和４年	大東市	639	580	607	582	552	642	788	811	625	678	619	717	7,840
	四條畷市	283	256	244	266	272	260	355	353	266	306	305	342	3,508
	その他					2				2	5	1		10
令和５年	大東市	747	588	553	607	670	645	779	828	707	644	671	756	8,195
	四條畷市	349	259	276	259	295	265	366	397	290	280	301	338	3,675
	その他						4	2	1		1	1	1	10
令和６年	大東市	764	682	675	618	646	711	852	752	632	619	641	836	8,428
	四條畷市	349	277	302	289	319	302	365	324	313	304	296	390	3,830
	その他	3		3	2	1			1	1	1	1	2	15
令和７年	大東市	794	682	668	587	604	652	718	711	620	653	702	675	8,066
	四條畷市	350	285	333	275	282	287	284	324	300	297	340	327	3,684
	その他		1						3		1	3		8

（18） 曜日別救急出場件数

		日	月	火	水	木	金	土	合 計
火災事故	大東市	6	7	8	3	13	10	5	52
	四條畷市	3	2	2	3	3	3	5	21
	その他			1	1				2
自然災害	大東市								
	四條畷市								
	その他								
水難事故	大東市	1					1		2
	四條畷市								
	その他								
交通事故	大東市	47	80	92	69	75	65	69	497
	四條畷市	18	30	35	44	24	32	21	204
	その他		2	1	1			1	5
労働災害	大東市	2	11	10	7	14	11	12	67
	四條畷市	5		6		3	3	5	22
	その他								
運動競技	大東市	10	6	3	8	2	3	13	45
	四條畷市	8	7	1	3		2	10	31
	その他								
一般負傷	大東市	163	183	186	166	189	173	189	1,249
	四條畷市	107	72	78	87	64	93	86	587
	その他								
加害	大東市	5	5	5	8	3	2	4	32
	四條畷市	1	1		2	2	1	2	9
	その他								
自損行為	大東市	12	15	15	6	6	7	8	69
	四條畷市	5	6	4	3	2	1		21
	その他								
急病	大東市	768	785	821	758	816	757	756	5,461
	四條畷市	389	407	400	345	381	344	365	2,631
	その他	1							1
その他	大東市	60	100	90	70	91	98	84	593
	四條畷市	12	26	32	25	25	23	14	157
	その他								
合計		1,623	1,745	1,790	1,609	1,713	1,629	1,649	11,758

（19）救急隊の行った応急処置件数

処置内容等＼事故種別			急病	交通事故	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員			7,057	637	1,802	953	10,449
応急処置件数	止血		23	33	121	24	201
	固定		5	63	77	25	170
	人工呼吸		10		1		11
	胸骨圧迫		4		1	1	6
	心肺蘇生		176	1	6	13	196
	酸素吸入		1,342	35	66	205	1,648
	気道確保		203	1	7	16	227
		経鼻エアウェイ	2			1	3
		喉頭鏡、鉗子等	2				2
		ラリンゲアルマスク等	62	1	1	2	66
		気管挿管	68		4	4	76
	保温		199	5	27	21	252
	被覆		16	83	238	61	398
	在宅療法		67		7	3	77
	ショックパンツによる血圧の保持		1				1
	除細動		21				21
	静脈路確保(輸液)		109		3	4	116
	薬剤投与		67		3	5	75
	その他の応急処置		6,986	633	1,789	944	10,352
	血圧測定		6,620	621	1,670	922	9,833
	聴診器		1,302	58	77	69	1,506
	血中酸素飽和度の測定		6,880	633	1,784	940	10,237
	心電図		2,235	53	140	189	2,617
	β刺激薬投与						
	静脈路確保	うちCPA前	23				23
		うちCPA後	76		3	4	83
	血糖測定		32			2	34
	エピペン投与		1				1
	ブドウ糖投与		11				11
	計		26,543	2,220	6,025	3,455	38,243

CPA：心肺機能停止状態

（20）現場到着所要時間別出場件数【入電※～現場到着まで】

現場到着 / 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着平均 所要時間
急　病	18	240	5,543	2,247	45	8,093	8.6
交通事故	7	28	468	197	6	706	8.5
一般負傷	4	60	1,222	535	15	1,836	8.6
上記以外	12	97	650	353	11	1,123	8.5
計	41	425	7,883	3,332	77	11,758	8.6

（21）収容所要時間別搬送人員【入電※～病院収容まで】

収容所要時間 / 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計	収容平均 所要時間
急　病		66	1,810	4,847	483	32	7,238	38.6
交通事故		15	175	420	35		645	36.6
一般負傷		20	483	1,218	120	3	1,844	37.7
そ　の　他		30	322	569	57	9	987	37.5
計		131	2,790	7,054	695	44	10,714	38.2

※　各所要時間の起点は、国の統計報告との整合を図るため《指令》時間から《入電》時間に変更しました。





（22）応急手当普及啓発活動状況

実施年	講習種別	講習回数	受講者数	修了者数(累計)
令和元年	普通救命講習Ⅰ	37回	857人	24,409人
	普及員講習	2回	44人	466人
	その他救急講習等	59回	1,903人	―――
令和2年	普通救命講習Ⅰ	19回	506人	24,915人
	普及員講習	1回	18人	484人
	その他救急講習等	10回	370人	―――
令和3年	普通救命講習Ⅰ	20回	332人	25,247人
	普及員講習	1回	19人	503人
	その他救急講習等	18回	301人	―――
令和4年	普通救命講習Ⅰ	42回	708人	25,955人
	普及員講習	1回	20人	523人
	その他救急講習等	34回	1,244人	―――
令和5年	普通救命講習Ⅰ	41回	1,007人	26,962人
	普及員講習	1回	24人	547人
	その他救急講習等	49回	1,333人	―――
令和6年	普通救命講習Ⅰ	45回	933人	27,895人
	普及員講習	1回	26人	573人
	その他救急講習等	57回	1,304人	―――
令和7年	普通救命講習Ⅰ	66回	1,095人	28,990人
	普及員講習	1回	10人	583人
	その他救急講習等	58回	1,412人	―――

※平成27年から署外へ出向いて実施した普通救命講習を「普通救命講習Ⅰ」に含めています。

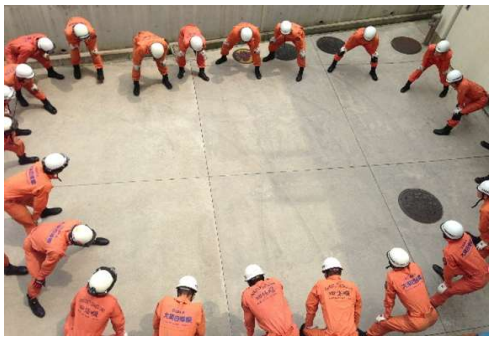
※3時間に満たない講習は「その他救急講習等」に含めています。



（23）救助活動状況

区分 / 事故種別	出動件数	出動人員	活動件数	活動人員	救助人員
火　　災	15	63	15	55	9
交　通　事　故	8	34	5	22	6
水　難　事　故	2	9	1	5	2
風水害等自然災害					
機械による事故	2	8	2	8	6
建物等による事故	5	21	5	17	5
ガス及び酸欠事故	3	12	3	12	2
爆　発　事　故					
その他の事故	49	216	21	91	19
計	84	363	52	210	49







6　予　防

防火対象物の現況

(1) 防火対象物

消防法では、建築物など火災予防行政の主たる対象となるものを防火対象物と定義し、そのうち消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物については、その用途や規模などに応じて火災予防のための人的体制の整備や消防用設備等の設置、防炎物品の使用などを義務付けています。

防火対象物数

令和7年度末現在

用途区分			大東市	四條畷市	合計
1項	イ	劇場・映画館　等	2	1	3
	ロ	公会堂・集会場	49	25	74
2項	イ	キャバレー・カフェー　等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	7	4	11
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗			
	ニ	カラオケボックス　等	2		2
3項	イ	待合・料理店　等			
	ロ	飲食店	45	15	60
4項		百貨店・マーケット　等	98	46	144
5項	イ	旅館・ホテル　等	7	9	16
	ロ	寄宿舎・共同住宅　等	1,159	508	1,667
6項	イ	病院・診療所　等	35	11	46
	ロ	老人短期入所施設　等	48	27	75
	ハ	老人デイサービスセンター　等	63	32	95
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3	3	6
7項		小・中・高・大学・各種学校　等	117	45	162
8項		図書館・博物館　等	3	1	4
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場　等			
	ロ	イ以外の公衆浴場	2		2
10項		車両の停車場　等	3	1	4
11項		神社・寺院・教会　等	31	12	43
12項	イ	工場・作業場	647	75	722
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13項	イ	自動車車庫・駐車場	38	12	50
	ロ	飛行機等の格納庫　等			
14項		倉庫	308	57	365
15項		前各項に該当しない事業所	254	97	351
16項	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	377	150	527
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	95	51	146
16の2項		地下街			
16の3項		準地下街			
17項		重要文化財　等			
18項		延長50メートル以上のアーケード	1		1
19項		管理者の指定する山林			
20項		総務省令で定める舟車			
合計			3,394	1,182	4,576

(2) 消防同意

消防同意は、消防本部が火災予防の観点から、建築物の消防用設備等について設計の段階から関与し、建築物の安全性を高めることを目的として設けられている制度です。

消防本部は、この制度の運用に当たって、建築物の防火に関する法令の規定を踏まえ、防火上の安全性及び消防活動上の観点から、よりきめ細かい審査、指導を行うとともに、この事務が迅速に処理されるような体制の充実と連携の強化を図っています。

消防同意件数

令和7年度中

用途区分			大東市	四條畷市	合計
1項	イ	劇場・映画館　等			
	ロ	公会堂・集会場			
2項	イ	キャバレー・カフェー　等			
	ロ	遊技場・ダンスホール			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗			
	ニ	カラオケボックス　等			
3項	イ	待合・料理店　等			
	ロ	飲食店		1	1
4項		百貨店・マーケット　等	5	1	6
5項	イ	旅館・ホテル　等			
	ロ	寄宿舎・共同住宅　等	27	12	39
6項	イ	病院・診療所　等	1	1	2
	ロ	老人短期入所施設　等	3		3
	ハ	老人デイサービスセンター　等	2		2
	ニ	幼稚園・特別支援学校			
7項		小・中・高・大学・各種学校　等	7		7
8項		図書館・博物館　等			
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場　等			
	ロ	イ以外の公衆浴場			
10項		車両の停車場　等			
11項		神社・寺院・教会　等			
12項	イ	工場・作業場	2	1	3
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13項	イ	自動車車庫・駐車場	1		1
	ロ	飛行機等の格納庫　等			
14項		倉庫	6	4	10
15項		前各項に該当しない事業所	8	1	9
16項	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物		3	3
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	5	1	6
16の2項		地下街			
16の3項		準地下街			
17項		重要文化財　等			
18項		延長50メートル以上のアーケード			
19項		管理者の指定する山林			
20項		総務省令で定める舟車			
その他			41	144	185
合計			108	169	277

（3） 消防用設備等

消防法では防火対象物の関係者に対し、当該防火対象物の用途、規模、構造及び収容人員に応じて消防用設備等を設置し、それを適正に維持することを義務付けています。

消防用設備等に係る技術上の基準については、技術の進歩や社会的要請に応じて、逐次規定整備が行われています。

平成28年12月に発生した新潟県糸魚川市の大規模火災を踏まえ、火を使用する設備を設けた飲食店等には、原則として面積にかかわらず消火器具の設置を義務付けることとされました。

また、民泊を行う場合は、利用者の安全確保のために、建物の規模や階数等により消火器や自動火災報知設備等の設置が必要となるため、家主等が住宅宿泊事業の届出を行う際に申請書類に基づく図面審査や必要に応じて現地確認を行い、民泊の開始前に消防機関が防火上の安全を確認することとしています。

消防用設備等検査状況

令和7年度中

消防用設備等		大東市	四條畷市	合計
消火設備	消火器	43	18	61
	屋内消火栓設備	9		9
	スプリンクラー設備	5	8	13
	水噴霧消火設備等	1	1	2
	屋外消火栓設備			
	動力消防ポンプ設備	3		3
警報設備	自動火災報知設備	62	22	84
	ガス漏れ火災警報設備			
	漏電火災警報器			
	火災通報装置	5	1	6
	非常警報設備等	8	10	18
避難設備	避難器具	4	3	7
	誘導灯・誘導標識	60	33	93
	消防用水			
消防活動上必要な施設	排煙設備		1	1
	連結散水設備			
	連結送水管	2		2
	非常コンセント設備			
	無線通信補助設備			
合計		202	97	299

危険物規制事務の概要

消防法では、火災発生の危険性及び火災が発生した場合にその拡大の危険性が大きいものや火災の際に消火が困難であるなどの性状を有する物品を「危険物」として指定しています。危険物規制事務では、これら危険物の貯蔵・取扱い及び運搬において保安上の規制を行い、危険物による災害を防止し、公共の安全が確保されるように適切な指導を行っています。

(1)危険物施設及び事業所数

令和7年度末現在

区分		大東市	四條畷市	区分別合計
製造所		3		3
貯蔵所	屋内貯蔵所	74	3	77
	屋外タンク貯蔵所	7		7
	屋内タンク貯蔵所	4		4
	地下タンク貯蔵所	25	19	44
	簡易タンク貯蔵所			
	移動タンク貯蔵所	18	10	28
	屋外貯蔵所			
取扱所	給油取扱所	23	18	41
	第一種販売取扱所	3		3
	第二種販売取扱所			
	一般取扱所	24	3	27
構成市別合計		181	53	234
危険物事業所		114	34	148

(2)危険物施設の推移

令和7年度末現在

区分＼年度別	合計	製造所	貯蔵所 小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	取扱所 小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	事業所
令和5年度	220	3	148	82	7	4	42		13		69	41	3		25	148
令和6年度	219	3	146	78	7	4	44		13		70	41	3		26	149
令和7年度	234	3	160	77	7	4	44		28		71	41	3		27	148

（3） 危険物施設関係事務処理状況

令和7年度中

区分		大東市	四條畷市	合計
許可	設置	8	1	9
	変更	24	4	28
完成検査	設置	8	1	9
	変更	22	3	25
仮使用承認		12	1	13
点検期間延長承認				
予防規程	制定	1	1	2
	変更	2		2
仮貯蔵・仮取扱承認		5		5
その他の申請		1		1
軽微な変更届		16	7	23
危険作業届		6	2	8
譲渡引渡届				
品名、数量又は倍数変更届		7		7
廃止届		4	1	5
保安監督者選任解任届		20	6	26
氏名、名称、住所変更届		24	7	31
危険物取扱作業従事者届		18	6	24
製造所等使用休止（再開）届				
その他の届出		1	2	3
構成市別合計		179	42	221

完成検査前検査	水張検査	4
	水圧検査	1
水張・水圧検査（条例）		



地下貯蔵タンク

保安3法規制事務の概要

経済産業省所管の「火薬類取締法」、「高圧ガス保安法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（以下「液化石油ガス法」という。）」に係る事務について、大阪府から当組合の構成市へ権限が移譲されました。組合規約の定めにより、平成26年4月1日から当組合で事務を行っています。

火薬類取締法の規制

火薬類の製造、販売、貯蔵、運搬、消費その他の取扱いを規制することにより、火薬類による災害を防止し、公共の安全を確保することを目的としています。

（1） 火薬類取締法関係事務処理状況

令和7年度中

火薬類関係事務処理件数	26

高圧ガス保安法の規制

高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造及び取扱いを規制することにより、高圧ガスによる災害を防止し、公共の安全を確保することを目的としています。

（2）高圧ガス保安法関係事業所数

令和7年度末現在

区　分	大東市	四條畷市	区分別合計
第一種製造者（冷凍則以外）	7		7
第二種製造者（冷凍則以外）	22	8	30
第一種製造者（冷凍則）			
第二種製造者（冷凍則）	11	3	14
第一種貯蔵所			
第二種貯蔵所	8	2	10
特定高圧ガス消費者	1	1	2
販売業者	39	16	55
容器検査所	2		2
構成市別合計	90	30	120



高圧ガス施設

(3)高圧ガス保安法関係事務処理状況

令和7年度中

区分			大東市	四條畷市	合計
申請	第一種製造者	製造許可			
		製造施設等変更許可			
		完成検査			
		保安検査	1		1
	第一種貯蔵所	貯蔵所設置許可			
		貯蔵所位置等変更許可			
		完成検査			
	容器検査所	登録			
		登録更新			
	特別充てん許可申請				
	高圧ガスの種類又は圧力の変更申請				
	その他の申請				
届出等	第一種製造者	製造施設軽微変更届	2		2
		製造開始届			
		危害予防規程届			
	第二種製造者	製造事業届	4		4
		製造施設等変更届	1		1
	第一種貯蔵所	貯蔵所軽微変更届			
	第二種貯蔵所	貯蔵所設置届		2	2
		貯蔵所位置等変更届	1		1
	販売業者	販売事業届	1	1	2
		販売に係る高圧ガスの種類変更届			
	特定高圧ガス消費者	特定高圧ガス消費届			
		特定高圧ガス消費施設等変更届			
	承継届		1		1
	受検届・検査記録届・検査結果報告		8		8
	廃止届		1	2	3
	選任・解任届		1	2	3
	事故届		1		1
	氏名等の変更届		6	3	9
	その他の届出等				
構成市別合計			28	10	38

液化石油ガス法の規制

一般消費者等に対する液化石油ガスの販売、液化石油ガス器具等の製造及び販売等を規制することにより、液化石油ガスによる災害を防止するとともに液化石油ガスの取引を適正にすることによって公共の福祉を増進することを目的としています。

(4)液化石油ガス法関係事業所数

令和7年度末現在

区　分	大東市	四條畷市	区分別合計
液化石油ガス販売事業者	9	4	13
保安機関	8	3	11
充てん設備	2		2
特定液化石油ガス設備工事事業者	9	5	14
構成市別合計	28	12	40

(5)液化石油ガス法関係事務処理状況

令和7年度中

区　分			大東市	四條畷市	合　計
申請	販売事業者	登録			
	保安機関	認定			
		認定更新			
		一般消費者等の数の増加の認可			
		保安業務規程(変更)認可			
	その他の申請				
届出等	販売事業者	登録行政庁の変更届			
		変更届			
	保安機関	認定行政庁の変更届			
		変更届			
		一般消費者等の数の減少届			
	充てん事業者	軽微な変更届	3		3
	貯蔵施設等	軽微な変更届			
	特定液化石油ガス設備工事	事業開始届			
		事業変更届	2		2
	承継届				
	受検届・検査結果報告		4		4
	廃止届				
	選任・解任届				
	液化石油ガス設備工事届		3	2	5
	事故届		1		1
	その他の届出等		22	7	29
構成市別合計			35	9	44

7　消　防　団

《大東市消防団》

（1） あゆみ

年　月　日	概　　要
31．　4．　1	住道町、四条町、南郷村が合併し大東市が誕生
31．　8．	大東市消防団　結成
	初代　消防団長　木本 辰蔵
32．　4．　1	第2代　消防団長　藪下 治三郎
33．　4．　1	第3代　消防団長　北村 武夫
34．　4．　1	第4代　消防団長　野口 勝三
36．　4．　1	第5代　消防団長　見浪 保治郎
40．　4．　1	第6代　消防団長　東村 末太郎
42．　4．　1	第7代　消防団長　川西 喜重郎
44．　4．　1	第8代　消防団長　北村 一雄
47．　8．　1	第9代　消防団長　野村 政一
52．12．	第1、8、23分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新(消防力整備計画)
53.11月～12月	第6、7、25分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
54.9月～10月	第5、20、24分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
11．11	自治体消防制度発足30周年記念式典、団員家族慰労会
	（大東市立市民体育館）
55．　8．　9	第4分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
8．26	消防団本部車配置（日本船舶振興会寄贈）
10．31	第3、15分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
56．　7．18	第22分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
8．11	第11、27分団　〃
57．　9．26	第26分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
10．17	第17分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
10．31	第13分団　〃
58．　9．　9	第12分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
9．12	第19分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
10．20	第16分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
10．23	自治体消防制度発足35周年記念式典（住道中学校体育館）
59．　3．　9	消防団長　野村 政一 氏　消防庁長官功労章受賞
59．12．16	第14分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新

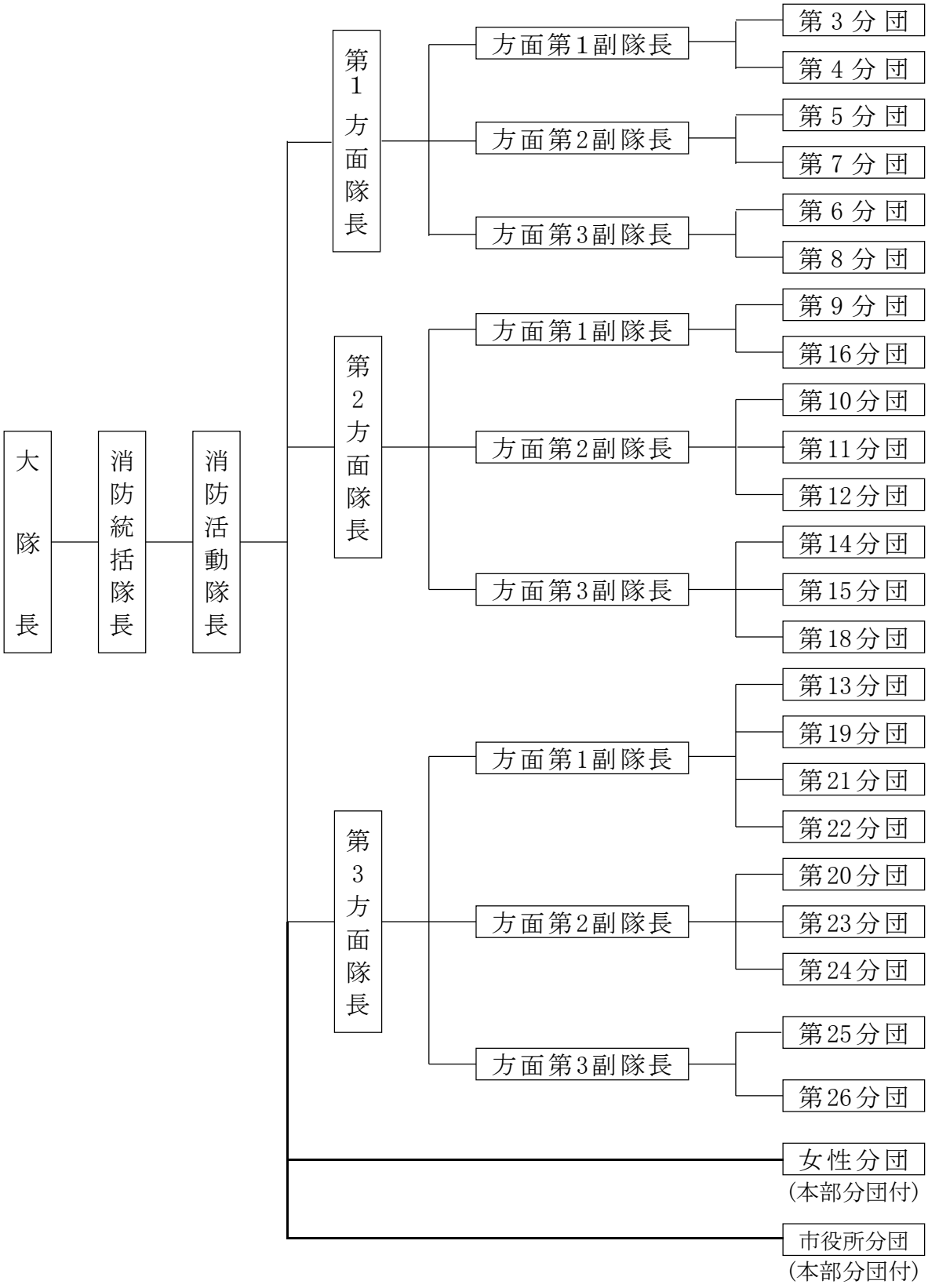
12．27	消防団用消防無線受令機車載型取付26基
	（元消防団長 北村 武夫 氏　寄贈）
60．3．3	第18分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
3．21	第10分団　〃
4．29	消防団長　野村 政一 氏　藍綬褒章受章
8．20	第9分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
9．1	第1回　大東市地域総合防災訓練（深野遊水池）
9．6	第21分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
10.24～11．3	消防団長　野村 政一　中国消防事情視察
61．4．1	第10代　消防団長　福川 豊一
62．10．18	第31回　大阪府消防大会　第14分団ポンプ操法大会出場
62．11．28	大阪府東部林野火災特別地域の指定
63．10．9	自治体消防制度発足40周年、大東市消防音楽隊発足20周年記念式典
	（大東市立総合文化センター）
1．4．1	第11代　消防団長　東 積
11．3	元副団長　乾口 伊之助 氏　勲六等単光旭日章受章
2．9．2	第34回　大阪府消防大会　第4分団ポンプ操法大会出場
4．4.20～28	副団長　川西 章市　中国消防事情視察
5.11.17～18	自治体消防制度発足45周年記念式典（東京ドーム）
11．28	自治体消防制度発足45周年記念式典（中央区マイドームおおさか）
6．7．22	第4分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
8．31	第24分団　〃
9．12	第20分団　〃
9．20	第5分団　〃
11．3	元副団長　樋口 憲明 氏　勲六等単光旭日章受章
11．28	第6分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
12．22	元団長　野村 政一 氏　従五位勲四等瑞宝章受章
7．1．17	阪神・淡路大震災発生
2.5～2.6	阪神・淡路大震災応援派遣（消防団）兵庫県消防学校（神戸市北区）
6．22	消防団本部車更新
9．10	第39回　大阪府消防大会　第26分団ポンプ操法大会出場
9．11	第7分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
9．25	第3分団　〃
9．27	第15分団　〃
9．28	第25分団　〃

10．18	第23分団　　〃
11．3	第1回　消防フェア（大東市立総合文化センター周辺）
11．8	第1、8分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
11.30～12.8	副団長　福川 貢　オセアニア消防事情視察
8．1．17	震災出動訓練
9．2．17	第11、22、27分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
6.25～7.4	副団長　北田 敏雄　アメリカ消防事情視察
7．26	第12回　大阪の消防大賞（大阪国際交流センター）
	第22分団班長　澤田 芳彦 氏　特別賞（人命救助）
9．16	第13、26分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
9．1	第41回　大阪府消防大会　第23分団ポンプ操法大会第3位入賞
11．3	元分団長　西岡 利晴 氏　勲七等青色桐葉章受章
10．3．7	自治体消防制度発足50周年記念式典（日本武道館）
10．14	第12、16、19分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
10．25	第13回大東市地域総合防災訓練（氷野小学校）
11．4．29	団長　東 積 氏　藍綬褒章受章
12．3．23	第10、14、18分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
11．21	第9、21分団BS－Ⅰ型ポンプ車更新
13．4．1	第12代　消防団長　野口 昇
14．9．1	第46回　大阪府消防大会　第18分団ポンプ操法大会第4位入賞
15．11．8	大東市民防火の集い（自治体消防55周年記念行事）
11．20	自治体消防制度55周年記念全国大会（東京ドーム）
17．4．1	第13代　消防団長　川西 章市
10.31～11．8	副団長　野村誠　アメリカ消防事情視察
19．4．1	消防分団車庫新築等補助制度施行
4．29	元団長　野口 昇 氏　瑞宝双光章受章
7．8	第２２回大阪の消防大賞に大東市消防団受賞
7．25	団本部車更新
9．17	第２１分団車庫竣工
20．2．9	自治体消防制度６０周年記念公演「ミュージカル『地震・カミナリ・火事・オヤジ』」（サーティホール）
21．4．1	第14代　消防団長　福川 貢
4．29	元消防団長　東　積　氏　瑞宝双光章受章
5．12	元団長　川西　章市　氏　瑞宝単光章受章
10．4	第２０分団小型動力ポンプ付積載車更新

11． 8	第２４分団小型動力ポンプ付積載車更新
11． 15	第５分団　〃
11． 22	第４分団　〃
22． 11． 21	第６分団小型動力ポンプ付積載車更新
23． 2． 16	第3分団小型動力ポンプ付積載車更新
2． 23	第15、25分団　〃
23． 3． 11	東日本大震災発生
4． 1	第１５代　消防団長　艮 恭平
9． 5	第7分団小型動力ポンプ付積載車更新
12． 15	第1、8、23分団小型動力ポンプ付積載車更新
24． 11． 3	副団長　北田 敏雄 氏　藍綬褒章受章
12． 13	第１１、２２、２７分団小型動力ポンプ付積載車更新
25． 4． 1	第１６代　消防団長　北田 敏雄
8． 22	第１３、２６分団小型動力ポンプ付積載車更新
11． 3	副団長　戸野谷 益之 氏　藍綬褒章受章
11． 25	自治体消防制度65周年記念全国大会(東京ドーム)
26． 4． 1	常備消防が四條畷市消防本部と合併し大東四條畷消防本部を発足 消防団事務を消防本部から市役所危機管理室に移管する。
9． 30	第１２、１６、１９分団小型動力ポンプ付積載車更新
11． 3	元団長　艮 恭平 氏　瑞宝双光章受章
28． 3． 6	消防団等地域活動表彰受賞
3． 6	団員　尾﨑 菜苗 氏　全国消防団意見発表会にて最優秀賞を受賞
3． 17	第１０、１４、１８分団小型動力ポンプ付積載車更新
9． 4	第60回　大阪府消防大会　第７分団ポンプ操法大会出場
11． 16	第９、２１分団小型動力ポンプ付積載車更新
29． 4． 1	第１７代　消防団長　戸野谷　益之
11． 3	分団長　橋本　正幸 氏　藍綬褒章受章
30． 4． 29	元団長　北田　敏雄 氏　瑞宝双光章受章
6． 1	大東市消防団本部付け女性消防団　１３名体制
9． 2	第62回　大阪府消防大会　第１４分団ポンプ操法大会出場
11． 14	副団長　石橋　博寿 氏　藍綬褒章受章
12． 3	消防大学校　消防団長科第７４期入校 副団長　中尾　隆
31． 3． 16	日本消防協会長表彰旗受賞
3． 4． 1	団長　戸野谷　益之 氏　北河内地区支部支部長　拝命

4． 1	市役所分団（機能別消防団発足）
4． 29	元副団長　野村　誠 氏　瑞宝単光章受章
4． 4． 29	副団長　永田　勉 氏　藍綬褒章受章
5． 9． 3	第67回　大阪府消防大会　第25分団ポンプ操法大会第２位入賞
6． 3． 4	令和５年度消防団地域活動表彰受賞（大阪東部農業協同組合）
11． 3	副団長　長田　和久 氏　藍綬褒章受章
7． 9． 7	第69回　大阪府消防大会　第11分団ポンプ操法大会出場
11． 3	副団長　石田　巧 氏　藍綬褒章受章

（２） 消防団の組織


大隊長
消防統括隊長
消防活動隊長
第1方面隊長
方面第1副隊長
第3分団
第4分団
方面第2副隊長
第5分団
第7分団
方面第3副隊長
第6分団
第8分団
第2方面隊長
方面第1副隊長
第9分団
第16分団
方面第2副隊長
第10分団
第11分団
第12分団
方面第3副隊長
第14分団
第15分団
第18分団
第3方面隊長
方面第1副隊長
第13分団
第19分団
第21分団
第22分団
方面第2副隊長
第20分団
第23分団
第24分団
方面第3副隊長
第25分団
第26分団
女性分団
（本部分団付）
市役所分団
（本部分団付）

（３） 消防団員の定数と配置

令和7年4月1日現在

階級別 / 分団別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
定数	1	5	34	25	50	75	200	390
本部(女性)	1	5	10(1)	1(1)	2(2)	3(3)	5(5)	27(12)
機能別分団（市役所分団）							12	12
〃 3 〃			1	1	2	3	8	15
〃 4 〃			1	1	2	3	6	13
〃 5 〃			1	1	2	3	8	15
〃 6 〃			1	1	2	3	8	15
〃 7 〃			1	1	2	3	6	13
〃 8 〃			1	1	2	3	9	16
〃 9 〃			1	1	2	3	8	15
〃10 〃			1	1	2	3	8	15
〃11 〃			1	1	2	3	7	14
〃12 〃			1	1	2	2	9	15
〃13 〃			1	1	2	3	6	13
〃14 〃			1	1	2	3	4	11
〃15 〃			1	1	2	3	3	10
〃16 〃			1	1	2	3	9	16
〃18〃			1	1	2	3	9	16
〃19 〃			1	1	2	3	8	15
〃20 〃			1	1	2	3	11	18
〃21 〃			1	1	2	3	8	15
〃22 〃			1	1	2	2	9	15
〃23 〃			1	1	2	3	9	16
〃24 〃			1	1	2	3	8	15
〃25 〃			1	1	2	2	9	15
〃26 〃			1	1	2	3	8	15
合 計	1	5	33 (1)	24 (1)	48 (2)	69 (3)	195 (5)	375 (12)

（　）は、うち女性

（４） 消防団員の年齢別及び階級

令和7年4月1日現在

階級別 / 年齢別	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	合　計
１８歳							2	2
１９歳							4	4
２０歳							7	7
２１歳						1	6	7
２２歳							8	8
２３歳							6	6
２４歳							7	7
２５歳							3	3
２６歳						3	13	16
２７歳						1	8	9
２８歳				1	1	4	5	11
２９歳						2	10	12
３０歳						2	4	6
３１歳					5	7	4	16
３２歳					1	2	6	9
３３歳			1	1	6	4	10	22
３４歳			2	1	1	2	5	11
３５歳			1		1	2	11	15
３６歳			2		1	6	3	12
３７歳			2	2	5	6	6	21
３８歳			1		2	1	4	8
３９歳			3	1	5	4	2	15
４０歳			2	2	1	2	2	9
４１歳				1		2	2	5
４２歳				4	2	2	6	14
４３歳			2				4	6
４４歳			3	1	2	2	6	14
４５歳			2		1	1	4	8
４６歳			1	3	1	3	7	15
４７歳			2	1	2	2	3	10
４８歳		1	3	1	3	1	3	12
４９歳				1		2	5	8
５０歳			1	1	3	3	3	11
５１歳			1	1			3	5
５２歳			1		1	2	4	8
５３歳		1			2			3
５４歳		1					3	4
５５歳			2			1		3
５６歳				1			1	2
５７歳							2	2
５８歳		1					1	2
５９歳								0
６０歳							1	1
61歳以上	1	1	1	1	1		1	6
合　計	1	5	33 (1)	24 (1)	47 (2)	70 (3)	195 (5)	375 (12)

（ ）は、うち女性

(5) 在職年数別消防団員数

令和7年4月1日現在

分団別 / 在職年数別	団本部	本部分団	第1方面隊 6ケ分団	第2方面隊 8ケ分団	第3方面隊 9ケ分団	合計
5年未満		14	22	22	38	96
5年以上 10年未満		6	16	26	30	78
10年以上 15年未満		4	19	24	33	80
15年以上 20年未満		2	19	18	18	57
20年以上 25年未満		4	6	12	11	33
25年以上 30年未満	3	2	3	7	6	21
30年以上	3	1	2	3	1	10
合　　計	6	33	87	112	137	375

（６）　消防団車両の配置

令和7年4月1日現在

所属	分団名	車名	型式	年式	総排気量（cc）	車両種別	備考
本部	市役所分団	トヨタ	3BF-TRY230改	令和5年	1,990	消防ポンプ自動車	
	第3分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第4分団	トヨタ	ADF-KDY281	平成21年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第5分団	トヨタ	ADF-KDY281	平成21年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第6分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成22年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第7分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第8分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
第二方面隊	第9分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成28年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第10分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成28年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第11分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成24年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第12分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成26年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第14分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成28年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第15分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第16分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成26年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第18分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成28年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
第三方面隊	第13分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成25年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第19分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成26年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第20分団	トヨタ	ADF-KDY281	平成21年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第21分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成28年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第22分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成24年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第23分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第24分団	トヨタ	ADF-KDY281	平成21年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第25分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第26分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成25年	2,982	可搬ポンプ付積載車	

四條畷市消防団

(1) あゆみ

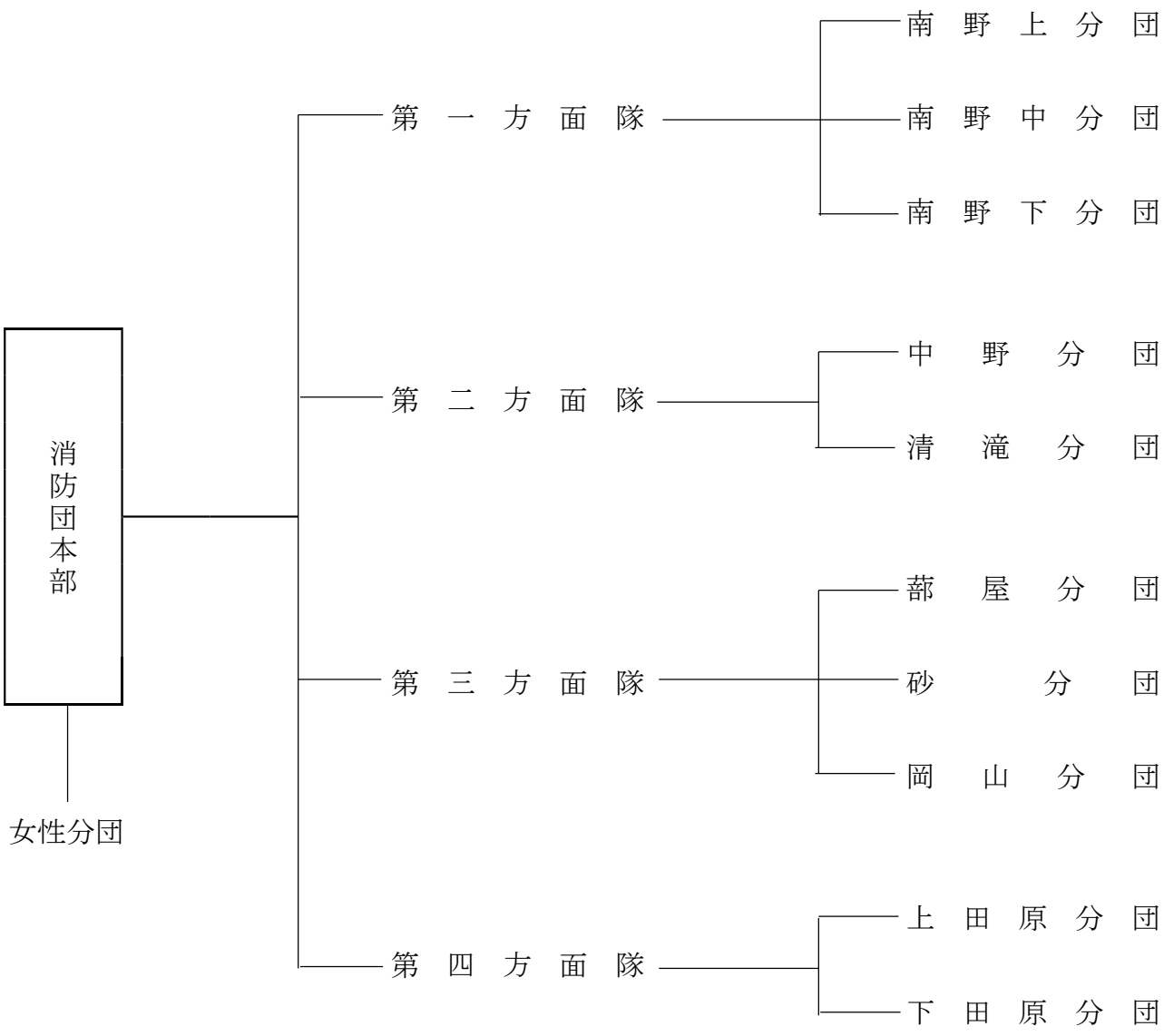
明治22年	甲可村消防組結成
昭和 7年	甲可村を四條畷村に改称
昭和14年	四條畷村警防団結成
昭和22年	町制施行により四條畷町となる
	自治体消防発足
	四條畷町消防団発足
昭和24年	自治省消防庁から消防団が竿頭綬を受章
昭和27年	(財)日本消防協会から消防団が表彰旗を受章
	(財)大阪府消防協会から消防団が竿頭綬を受章
昭和31年	大阪府知事から消防団が竿頭綬を受章
昭和36年	四條畷町と田原村が合併し、四條畷町と呼称
昭和39年	消防ポンプ自動車(BS－Ⅰ型)を南野中分団に配置
昭和40年	大阪府知事から消防団が表彰旗を受章
	小型動力ポンプ付積載車を砂分団に配置
昭和41年	消防ポンプ自動車(BS－Ⅰ型)を町役場消防団本部に配置
昭和42年	救急自動車を町役場に配置、職員で救急業務開始消防専用中短波無線電話(基地局1、移動局2)を消防団本部に設置開局
	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を蔀屋分団に配置
昭和43年	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を南野上分団、南野下分団にそれぞれ配置
昭和44年	四條畷町消防団常備部消防庁舎竣工落成
	四條畷町消防団常備部発足
昭和45年	市制施行により、四條畷市となる
	水槽付消防ポンプ自動車を消防団常備部に配置
	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を岡山分団、清滝分団にそれぞれ配置
	小型動力ポンプ付積載車を南野下分団に配置
昭和46年	四條畷市消防本部(署)発足
	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を中野分団に配置
	第15回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ操法の部で第7位入賞
昭和47年	消防庁から優良消防機関として表彰旗を受章
昭和48年	第17回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ操法の部で第4位入賞
昭和49年	第18回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ操法の部で第6位入賞
昭和50年	トランシーバを消防団全分団に配置
昭和51年	第20回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で優勝
昭和53年	(財)大阪府消防協会北河内地区支部消防操法訓練大会に参加し、自動車ポンプ操法の部で優勝
昭和53年	第22回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で優勝
	第6回全国消防操法大会に出場し、優良入賞を受賞

	小型動力ポンプ付積載車を砂分団に配置
	小型動力ポンプを逢阪分団に配置
	(財)日本消防協会から消防団が竿頭綬を受章
昭和54年	第23回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で準優勝
	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を南野中分団に配置
昭和55年	消防百年記念消防団全国大会に参加
昭和56年	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を、上田原分団、下田原分団に配置
昭和56年	四條畷ライオンズクラブから携帯無線機1基の寄贈を受け、携帯無線機4基を消防団に配置
昭和57年	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を蔀屋分団に配置
	(財)大阪府消防協会から消防団が竿頭綬を受章
昭和58年	背負式ポンプ(手動式)を全分団に3基配置
	携帯無線機2基を消防団に配置
	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を南野下分団に配置
	水防作業照明器具を、全分団に2基配置
	(財)大阪府消防協会から消防団が表彰旗を受章
昭和59年	携帯無線機2基を消防団に配置
昭和60年	携帯無線機4基を消防団に配置、全分団への配置完了
昭和61年	第30回大阪府消防操法訓練大会に参加し、ポンプ車操法の部で入賞
昭和63年	小型動力ポンプ付積載車を南野上分団に配置
平成 元年	(財)日本消防協会から消防団が優良消防団として、特別表彰「まとい」を受章
	(財)日本消防協会から、携帯用無線機10基、ハンドマイク2基の寄贈を受け、消防団に配置
平成 2年	小型動力ポンプ付積載車を清滝分団に配置
	第34回大阪府消防操法訓練大会に参加し、小型ポンプ操法の部で入賞
平成 3年	災害対策事業として、市指定避難場所明示看板(10枚)製作設置
	小型動力ポンプ付積載車を逢阪分団に配置
	(財)日本消防協会から消防団が表彰旗を受章
平成 4年	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を岡山分団に配置
平成 5年	災害対策事業として、市指定避難場所明示看板(7枚)製作設置
	小型動力ポンプ付積載車を中野分団に配置
	(財)日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、南野下分団に配置
	第37回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で入賞
	第8回大阪の消防大賞消防団の部で南野下分団が受賞
平成 6年	小型動力ポンプ付積載車を砂分団に配置
平成 7年	小型動力ポンプ付積載車を南野中分団に配置
	枚方信用金庫から携帯無線機2基の寄贈を受け、消防団に配置
平成 8年	小型動力ポンプ付積載車を蔀屋分団に配置
平成 9年	小型動力ポンプ付積載車を上田原、下田原の両分団に配置
	携帯無線機(5W)2基を消防団に配置
	第41回大阪府消防操法訓練大会に出場し、小型ポンプ操法の部で入賞
平成10年	消防団員に防寒衣を貸与

平成11年　携帯無線機（5W）3基を更新し、消防団に配置
平成12年　第44回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で入賞
平成13年　第16回大阪の消防大賞を清滝分団が受賞
消防団員にアポロキャプを貸与
平成15年　消防ポンプ自動車（BS－I型）を更新し、（CD－I型）を南野下分団に配置
小型動力ポンプ(B－2)を消防団に配置
小型移動照明装置を南野中、中野、蔀屋、上田原、下田原各分団に配置
平成16年　小型動力ポンプ付積載車を南野上分団に更新配置
第16回大阪の消防大賞消防団の部で清滝分団が受賞
小型移動照明装置を南野下、砂、岡山各分団に配置
第48回大阪府消防操法訓練大会に出場し、小型ポンプ操法の部で入賞
ふるさと消防団活性化助成を受けOA機器及びAV機器等を整備
平成17年　小型動力ポンプ付積載車を中野、清滝両分団に更新配置
消防ポンプ自動車（CD－I型）を岡山分団に更新配置
消防団メール配信システムを導入
小型移動照明装置を逢阪分団に配置、全分団に配置完了
平成18年　消防団員に新基準夏制服、活動服を貸与
平成19年　女性消防団員初採用（6名）
第51回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で入賞
ふるさと消防団活性化助成を受け、女性消防団員制服、プロジェクター及びAED
トレーナー、心肺蘇生訓練人形を整備
平成20年　小型動力ポンプ付積載車を南野下分団に更新配置
平成21年　消防団員安全装備品整備等助成を受け、特定小電力無線機32台、防火衣一式、
応急手当用品（感染防止用品）を整備
四條畷市防火協会から防火衣一式の助成を受け、消防団に配備
小型動力ポンプ付積載車を砂分団に更新配置
平成22年　市制施行40周年記念事業として消防フェアを開催
ドイツ国メアブッシュ市と国際友好都市を提携
（財）日本消防協会から消防団が竿頭綬受章
（社）日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽四積載車の寄贈を受け、逢阪分団
に更新配置
小型動力ポンプ付積載車を南野中分団に更新配置
平成23年　第55回大阪府消防操法訓練大会に出場し、小型ポンプ操法の部で準優勝
コミュニティ助成事業の助成を受けOA機器及心肺蘇生訓練人形・AEDトレーナーを整備
平成24年　小型動力ポンプ付積載車を蔀屋分団に更新配置
ディスクストレーナーを全分団に配備
平成25年　小型動力ポンプ付積載車を上田原及び下田原分団に更新配置
豪雨浸水時排水用水中ポンプ2機を消防団に配置
全積載車に中継用媒介を配置
消防団120年・自治体消防65周年記念大会（東京ドーム）

平成26年	常備消防が大東市消防本部と合併し大東四條畷消防本部を発足
	消防団事務を消防本部から市役所都市整備部危機管理課に移管する。
	第29回大阪の消防大賞消防団の部で受賞（185名）する。
	第58回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ操法の部で敢闘賞
	（公財）大阪府消防協会北河内地区支部資機材整備金により、各車両に拡声器を配置
	（公財）日本消防協会から防災活動車の寄贈を受け、消防団本部車両として配置
平成27年	消防団員に安全靴（長編上）及び安全帽を貸与
平成28年	組織の見直しを図り、統廃合により10分団体制となる。
	消防団員に活動用雨衣及び耐切創性手袋を貸与
	救命胴衣49着を消防団に配置
平成29年	デジタルMCA携帯型無線機29台を消防団に配置
平成30年	第62回大阪府消防操法訓練大会に出場し、小型ポンプ操法の部で準優勝
平成31年	消防団に高機能ホース巻き取り機を3台配備
令和2年	消防団本部に女性分団を設置する。
	消防団員に新基準活動服を貸与
令和3年	（公財）大阪府消防協会から消防団が表彰旗を受章
令和4年	コミュニティ助成事業の助成を受け安全靴（長編上）127足を整備
令和5年	消防ポンプ自動車（CD－I型）を南野下分団に更新配置
令和6年	消防団設備整備費補助金を受け高性能防火衣・防火帽50着を整備
令和7年	第69回大阪府消防操法訓練大会に出場し、小型ポンプ操法の部で敢闘賞
	小型動力ポンプ付積載車を南野上分団及び中野分団に更新配置

（2）消防団の組織


消防団本部
女性分団
第一方面隊
南野上分団
南野中分団
南野下分団
第二方面隊
中野分団
清滝分団
第三方面隊
蔀屋分団
砂分団
岡山分団
第四方面隊
上田原分団
下田原分団

（3）消防団員の定数と配置

令和7年4月1日現在

階級別 / 分団別	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	合　計
定数	185							
本部	1	4						5
女性			1	1	1	1	5	9
南野上			1	1	1	3	4	10
南野中			1	1	1	2	5	10
南野下			1	2	1	4	11	19
中野			1	1	1	3	8	14
清滝			1	1	1	3	6	12
蔀屋			1	1	1	3	10	16
砂			1	1	1	3	6	12
岡山			1	2	1	4	16	24
上田原			1	1	1	3	10	16
下田原			1	1	1	3	6	12
合　計	1	4	11	13	11	32	87	159

（4）消防団員の年齢別及び階級

令和7年4月1日現在

階級別 / 分団別	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	合　計
１８歳								
１９歳								
２０歳								
２１歳								
２２歳								
２３歳								
２４歳								
２５歳								
２６歳								
２７歳								
２８歳								
２９歳							3	3
３０歳							1	1
３１歳							1	1
３２歳							1	1
３３歳							2	2
３４歳						1	1	2
３５歳								
３６歳					2	1	3	6
３７歳						1	3	4
３８歳						1	1	2
３９歳						1	2	3
４０歳					1	1	5	7
４１歳				1		1	4	6
４２歳						1	2	3
４３歳						3	4	7
４４歳						4	2	6
４５歳					1	1	4	6
４６歳				1		3		4
４７歳				1	1		2	4
４８歳			2			1	5	8
４９歳				1				1
５０歳			1		1	2	2	6
５１歳			2	2		2	4	10
５２歳				2		2	3	7
５３歳				1		1	2	4
５４歳			1	2	2	2	3	10
５５歳		1	2		2	1	5	11
５６歳				1			3	4
５７歳			2	1		1	1	5
５８歳								
５９歳					1		6	7
６０歳			1				4	5
61歳以上	1	3				1	8	13
合　計	1	4	11	13	11	32	87	159

（5）在職年数別消防団員数

令和7年4月1日現在

在職年数別 / 分団別	団本部	第一方面隊	第二方面隊	第三方面隊	第四方面隊	合計
5年未満	1	7	5	6	4	23
5年以上 10年未満	4	5	5	11	1	26
10年以上 15年未満	1	11	6	10	4	32
15年以上 20年未満	3	4	1	12	5	25
20年以上 25年未満		2	6	5	6	19
25年以上 30年未満	3	4	2	3	5	17
30年以上	2	6	1	5	3	17
計	14	39	26	52	28	159

（6） 消防団車両の配置

令和7年4月1日現在

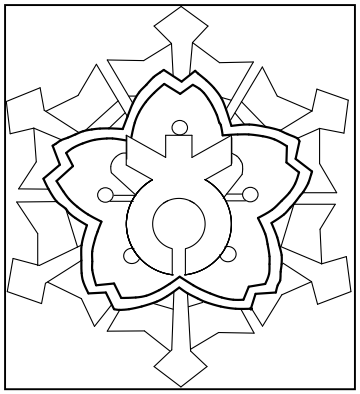
所属	分団名	車名	型式	年式	総排気量（cc）	車両種別	備考
団本部	団本部	スバル	EBD-TV2	平成22年	G650	可搬ポンプ積載車	予備車
第一方面隊	南野上	日産	TC-SH4F23改	平成16年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	南野中	日産	CBF-SQ1F24	平成22年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	南野下	トヨタ	3BF-TRY230改	令和5年	G1,990	ポンプ車	
		日産	CBF-SQ2F24	平成20年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
第二方面隊	中野	日産	TC-SH4F23	平成18年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	清滝	日産	TC-SH4F23	平成18年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
第三方面隊	蔀屋	日産	CBF-SQ2F24	平成24年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	砂	日産	CBF-SQ2F24	平成21年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	岡山	日産	PD-XZU304E	平成18年	D4,000	ポンプ車	
第四方面隊	上田原	日産	CBF-SQ2F24	平成24年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	下田原	日産	CBF-SQ2F24	平成24年	G1,990	可搬ポンプ積載車	

8　防火推進団体

(1) 大東市消防協力会

消防精神、とりわけ奉仕の精神の旺盛な同志が集い、永年防災の担手として、市民の幸せを願い、研鑽に励み訓練を重ね市民の期待に応えてきた貴重な体験を、ここに再度いかして、消防行政に協力し、防災の面で社会奉仕をしようとして設立されたものです。

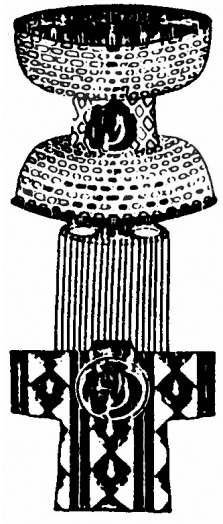
会員之章



ア）会員数　　１２８名
　正会員　　消防団員の退職者
　　及び支部長の推薦する者
　特別会員　　本会の事業に密接な関係を有する者

イ）会　費　　年額　１０,０００円

ウ）事　業
- 地域の防火訓練等の協力並びに参加
- 地域の消防分団の育成並びに助成
- 地域の少年消防・女性防火クラブの育成並びに助成
- 消防諸行事への協力並びに参加
- 会員研修・講習会の実施
- 会員相互の親睦
- その他本会の目的を達成するために必要な事業



め組の纏

（2） 大東市防火防災協会

本協会は昭和４０年１０月、大東市初の防火推進団体として、１４７事業所の賛同のもとに発足しました。平成２９年には「大東市防火防災協会」に改名し、防災にも力を入れています。令和７年４月１日現在、会員数は６８２事業所にのぼり、名実共に府下屈指の協会として、その実績が評価されています。

大東市防火防災協会記章

記　章　の　趣　意

この記章は、「火をみつめる(安全確認)」を表現したものであります。

外枠の円は、会員が共に手をたずさえ協調。

外枠の円の一方は、大東市民の安全、他は事業所の安全を表し、本会の目標である「無火災都市＝大東」と「事業所の繁栄」を願ったものであります。

ア）　歴代会長

初代会長	池田　次郎吉	S40.10.10	～	S42.3.31
第２代会長	杉岡　金蔵	S42.4.1	～	S47.3.31
第３代会長	松村　憲三	S47.4.1	～	S51.3.31
第４代会長	内田　照夫	S51.4.1	～	S60.3.31
第５代会長	吉井　章逸	S60.4.1	～	S63.3.31
第６代会長	安田　進一	S63.4.1	～	H5.3.31
第７代会長	北村　吉左衛門	H5.4.1	～	H13.3.31
第８代会長	杉岡　五郎	H13.4.1	～	H15.3.31
第９代会長	田中　利男	H15.4.1	～	H19.3.31
第10代会長	川本　安夫	H19.4.1	～	H23.3.31
第11代会長	東坂　巖	H23.4.1	～	R7.3.31
第12代会長	淀　髙和	R7.4.1	～	現在

イ）　主な事業

（ア）防火ポスター、広報紙等の刊行配布
（イ）防火管理者、危険物取扱者研修の実施
（ウ）消防設備相談、消火器等のあっせん
（エ）火災予防運動の推進
（オ）職域自衛消防隊の育成・指導
（カ）女性防火クラブ等防火推進団体の育成・助成
（キ）消防職・団員の研修助成
（ク）市民音楽隊の育成・助成



（3） 大東市女性防火クラブ・幼年消防クラブ

「家庭防火は主婦の手で」を合言葉に、昭和４３年に末広地区で初めて婦人防火クラブが結成されました。現在では、１０クラブ２０２名のクラブ員が活動しています。

また、昭和55年には婦人防火クラブ連絡協議会が結成され、さらに平成16年には女性防火クラブに名称変更し、より一層充実した運営・活動がなされています。

幼年消防クラブは、幼少期から防火に対する意識を持ってもらうことを目的に、平成２９年４月に新しく誕生し、現在市内の幼稚園、こども園、保育園（所）２４園で結成されています。クラブ員たちは「防火の誓い」を宣誓し、消防署長から認定証を手渡されました。

ア） 女性防火クラブ結成の推移等　　令和７年４月１日現在

結成年月	名　　称	現在人員
昭和43年11月	婦人防火クラブ末広支部結成	クラブ員　31名
昭和53年11月	〃　南郷支部結成※	
昭和53年12月	〃　灰塚支部結成	クラブ員　22名
昭和55年 4月	〃　山の手支部結成	クラブ員　14名
昭和55年 4月	大東市婦人防火クラブ連絡協議会立ち上げ	
昭和57年 9月	婦人防火クラブ大野支部結成	クラブ員　15名
昭和58年 3月	〃　南灰塚支部結成	クラブ員　18名
昭和59年 6月	〃　深四支部結成※	
昭和59年12月	〃　龍間支部結成	クラブ員　20名
平成 7年 6月	〃　北灰塚支部結成	クラブ員　24名
平成13年10月	〃　朋来支部結成※	
平成16年 4月	女性防火クラブ連絡協議会に名称変更 ○○女性防火クラブに支部名称変更	
平成18年 4月	三箇女性防火クラブ結成	クラブ員　22名
平成20年 6月	〃　東諸福女性防火クラブ結成※	
平成21年 6月	〃　栄和町女性防火クラブ結成※	
平成22年11月	新田女性防火クラブ結成	クラブ員　24名
令和 5年 4月	太子田女性防火クラブ結成	クラブ員　12名

※は現在休止中

イ） 幼年消防クラブ結成の推移等　　令和７年４月１日現在

結成年月	名　　称	現在人員
平成29年 4月	市立北条こども園幼年消防クラブ	クラブ員　25名
	市立諸福幼稚園　〃	クラブ員　8名
	愛真幼稚園　〃	クラブ員　61名
	四條畷学園大学附属幼稚園　〃	クラブ員　84名
	住道こども園　〃	クラブ員　57名
	大東中央幼稚園　〃	クラブ員　78名
	朋来幼稚園　〃	クラブ員　72名
	大東わかば保育園　〃	クラブ員　19名
	若竹こども園　〃	クラブ員　23名

平成30年 4月	あすなろこども園	〃	クラブ員	28名
	聖心保育園	〃	クラブ員	36名
	第２聖心保育園	〃	クラブ員	21名
平成31年 4月	津の辺保育園	〃	クラブ員	22名
	四条保育園	〃	クラブ員	20名
	みのりこども園	〃	クラブ員	12名
	市立野崎保育所	〃	クラブ員	25名
	上三箇保育園	〃	クラブ員	19名
	ひらりす保育園	〃	クラブ員	20名
	市立南郷保育所	〃	クラブ員	35名
	江ノ口保育園	〃	クラブ員	14名
	大東つくし保育園	〃	クラブ員	20名
	氷野保育園	〃	クラブ員	19名
	新田保育園	〃	クラブ員	21名
	ひとつぶ保育園	〃	クラブ員	18名

（4）四條畷市防火協会



昭和５２年７月設立総会を開催し、『火災のない明るい四條畷市』を目標とすることを確認し、会員数４４５名のもと『四條畷市防火協会』が正式に発足しました。

◎会員数　２６８名　（令和７年４月１日現在）

◎主な事業

- ○　会報の発行
- ○　火災予防運動の実施
- ○　住宅用火災警報器の普及啓発
- ○　防火の講演、講習、訓練の実施
- ○　視察研修会の実施
- ○　各種会議の開催
- ○　消火器の補てん事業の実施

（5）四條畷市女性防火クラブ・幼年消防クラブ

「火災のない町は私たちの手で」を合言葉に、昭和５９年に中野地区で初めて婦人防火クラブが結成されました。現在、２クラブ３２名のクラブ員が活動しています。

また、平成８年には婦人防火クラブ連絡協議会が結成され、さらに平成１９年には女性防火クラブに名称変更し、より一層充実した運営・活動がなされています。

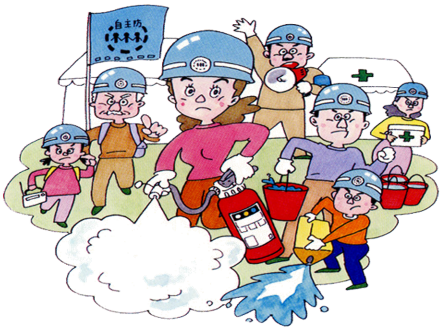
一方幼年消防クラブも幼稚園児を対象に幼年期からの防火意識の高揚を目的に平成２年に結成し、正しい火の取り扱いや火の怖さを学んで「防火の誓い」を行う等、子供の火遊びによる火災予防等に貢献し、消防諸行事に協力参加しています。

ア）　女性防火クラブ結成の推移等　　令和７年４月１日現在

名　　称	結成年月	クラブ員数
中野女性防火クラブ （平成１９年４月中野婦人防火クラブから名称変更）	昭和５９年４月	１８名
清滝女性防火クラブ （平成１９年４月清滝婦人防火クラブから名称変更） （令和５年４月１日から活動休止）	平成７年４月	０名
四條畷市女性防火クラブ連絡協議会 （平成１９年４月四條畷市婦人防火クラブ連絡協議会から名称変更）	平成８年４月	３２名
岡山女性防火クラブ	平成２４年４月	１４名

イ）　幼年消防クラブ結成の推移等　　令和７年４月１日現在

名　　称	結成年月	クラブ員数
畷幼稚園幼年消防クラブ	平成２年４月	９６名
星子幼稚園幼年消防クラブ	平成２年４月	休園中
畷すずらん保育園幼年消防クラブ	平成３０年４月	３０名
忍ケ丘愛育園幼年消防クラブ	平成３０年４月	２８名
田原台ひまわりこども園幼年消防クラブ	平成３０年４月	３０名
市立岡部保育所幼年消防クラブ	平成３０年４月	２１名
なわてすみれ園幼年消防クラブ	平成３０年４月	３８名
畷アサヒヶ丘保育園幼年消防クラブ	平成３０年４月	３０名
忍ケ丘いるかこども園幼年消防クラブ	平成３０年４月	２１名
畷たんぽぽ保育園幼年消防クラブ	平成３０年４月	１６名
市立忍ケ丘あおぞらこども園幼年消防クラブ	平成３０年４月	５１名



令和7年　消防年報
令和8年10月発行

発行 ： 大東四條畷消防本部
大東市新町13番35号
TEL(072)872-2345　　FAX(072)870-0119